

ABPs (ASUKABOOK® Photoshop tool) マニュアル


初版 2011 年 11 月 28 日

第 16f 版 2025 年 11 月 20 日

ABPs とは?

アスカネットの写真集をご利用頂き、誠にありがとうございます。


ASUKABOOK® Photoshop Tool (以下、ABPs と略す) は Adobe Photoshop® を使って ASUKABOOK® のレイアウトを行う方に、より効率よく作業を進めて頂くための補助ツールです。

なお、弊社ホームページには ASUKABOOK® の種類、編集上のご注意、モニタ調整と色評価、などの情報が満載されています。ぜひ一度ご覧ください。  <https://asukabook.jp/>

◆このマニュアルについて

●本書は、ASUKABOOK® Photoshop tool において機能、および操作の解説をするものです。

●ABPs について、調べたい項目を「もくじ」から探し出してください。

本書を Adobe Reader® などの PDF ファイル閲覧ソフトでご覧頂く場合は、もくじページの項目番号、題目、ページ数の部分にマウスポインタを置くと  マークに変わります。クリックすると該当するページに直接ジャンプしますのでご活用ください。

●本書は、Adobe Reader® などの PDF ファイル閲覧ソフトでご覧の場合は、「○ページをご覧ください。」と書かれた文章をクリックすると、該当ページ、および該当するホームページにジャンプできます。



マークが目印です。

●本書での説明において、実際の運用との間に相違点がある場合は、実際の運用方法を優先するものとします。

●本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載のない操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。

1. 本製品 (ASUKABOOK® Photoshop tool) の一部、または全部を無断で複製することを禁止します。
2. 本製品 (ASUKABOOK® Photoshop tool) の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
3. 本製品 (ASUKABOOK® Photoshop tool) は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
4. 運用した結果については、3. 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
5. ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、弊社はその責任を負わないものとします。
6. 本ソフトウェア (ASUKABOOK® Photoshop tool) の解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
7. アスカネット、ASUKABOOK®, ASUKABOOK® Photoshop tool、およびそのロゴは、株式会社アスカネットの登録商標です。
8. Adobe Photoshop®, Adobe Reader® は、アドビシステムズ株式会社の登録商標です。
9. Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。MacOS は Apple Inc. の登録商標です。

免責事項

本書に記載されている内容は、あくまで参照用として示すものです。また、記載内容は予告なく変更される場合があります。従って当該情報が株式会社アスカネットの責務として解釈されるわけではないことをご了承ください。株式会社アスカネットは、本マニュアルにおけるいかなる誤謬、また不正確な記述に対してもなんら責任、補償を負うものではありません。

目次

1. ABPs の概要	4
1-1. ASUKABOOK Photoshop Tool(以下: ABPs) の特徴	4
1-2. アップデート情報	4
1-3. 必要なアプリケーションと動作環境	4
1-4. ABPs 作業の流れ	5
2. ABPs のご利用にあたっての注意事項	6
2-1. カラーマネージメントとご利用になれる画像について	6
2-2. 小さな文字・細いライン についてのご注意	6
2-3. 変換後の塗足し・トリミングの確認	6
3. ABPs のインストールと起動 macOS の場合	3-1
3-1. macOS でのインストール	3-1
3-2. ダウンロードしたファイルの解凍	3-1
3-3. macOS でのインストールと起動	3-2
3-4. macOS でのアンインストール	3-6
3-5. ABPs が起動しない場合	3-9
4. ABPs のインストール Windows の場合	4-1
4-1. Windows でのインストール	4-1
4-2. ダウンロードしたファイルの解凍	4-1
4-3. Windows でのインストール	4-2
4-3-1. 「ABPs」の過去バージョンを削除する	4-2
4-3-2. 「ABPs」のインストール ダウンロードした「ABPs」フォルダのコピー	4-3
4-4. Windows でのアンインストール	4-5
5. 「ABPs」の起動	5-1
6. ホワイトベース	6-1
6-1. ホワイトベースの作成	6-1
6-1-1. ブック仕様の選択について	6-3
6-2. ホワイトベースの仕様について	6-4
7. 書き出し(注文用 JPEG の作成)	7-1
8. ブック変換	8-1
8-1. ブック変換のルール	8-1
8-1-1. 事前の準備	8-1
8-2. ブック変換の基本操作	8-4
8-2-1. 変換先のホワイトベースの準備	8-4

8-2-2. 本文ページの変換	8-5
8-2-3. 表紙ページの変換	8-8
8-3. ブック変換／ページ数を増やす場合	8-12
8-4. ブック変換／ページ数を減らす場合	8-13
9. ツール	9-1
管理者権限での実行	9-1
9-1. 「新規ホワイトベース」表示項目の変更	9-2
9-2. ブック情報を表示	9-3
9-3. ブック情報を登録	9-5
9-4. JPG-PSD 変換	9-7
9-5. リネーム(4桁-6桁)	9-10
9-6. 環境設定	9-12
9-7. ログ	9-14
9-8. 初期状態に戻す	9-16
10. ページナビゲーション	10-1
10-1. ページナビゲーションを表示させる	10-1
10-2. ページの入れ替えによるファイル名の振り直し	10-3
10-3. ページの入れ替えができない例	10-6
10-4. Adobe Bridge®のエラーメッセージ	10-7
11. ご注文について	11-1
12. ご注文後の流れ・キャンセル・増刷	12-1
13. 編集上の注意	13-1
13-1. 塗り足しと裁ち落としについて	13-1
13-2. 塗り足し領域について	13-1
13-3. サイズ変換による表紙・本文のデザイン確認について	13-2
13-4. 最新情報はホームページで確認	13-3
14. お問い合わせ	13-4
索引	索引-1

1. ABPs の概要

1-1. ASUKABOOK Photoshop Tool(以下 : ABPs) の特徴

ABPs (ASUKABOOK® Photoshop Tool の略称) は Adobe Photoshop® を使って ASUKABOOK® のレイアウトを行う方に、便利な機能をご提供する Adobe スクリプトです。対応した Adobe Photoshop®、および Adobe Bridge® が正常に動作する環境であれば Windows、macOS にかかわらず「ABPs」も動作します。

■機能

- ・ホワイトベースの作成・・・ASUKABOOKの各商品に対応したホワイトベースが作成できます
- ・書き出し・・・入稿用のJPEGデータを書き出します
- ・ブック変換・・・ブックのサイズやページ数を変更できます
- ・ページナビゲーション・・・ページを入れ替えた際のページ番号を正しくリネームします

1-2. アップデート情報

① 2025 年 11 月 20 日

Adobe Photoshop® 2026に対応しました。

1-3. 必要なアプリケーションと動作環境

Adobe Photoshop® を使って ASUKABOOK® 注文用の JPEG ファイルを制作するためには、下記のアプリケーションが対応し動作している環境が必要です。ページナビゲーション機能は、Adobe Photoshop® と同じバージョンの Adobe Bridge® が必要です。

Adobe Photoshop® 2026(27.0以降)、Adobe Bridge® 2026

Adobe Photoshop® 2025(26.3以降)、Adobe Bridge® 2025

Adobe Photoshop® 2024(25.11以前)、Adobe Bridge® 2024

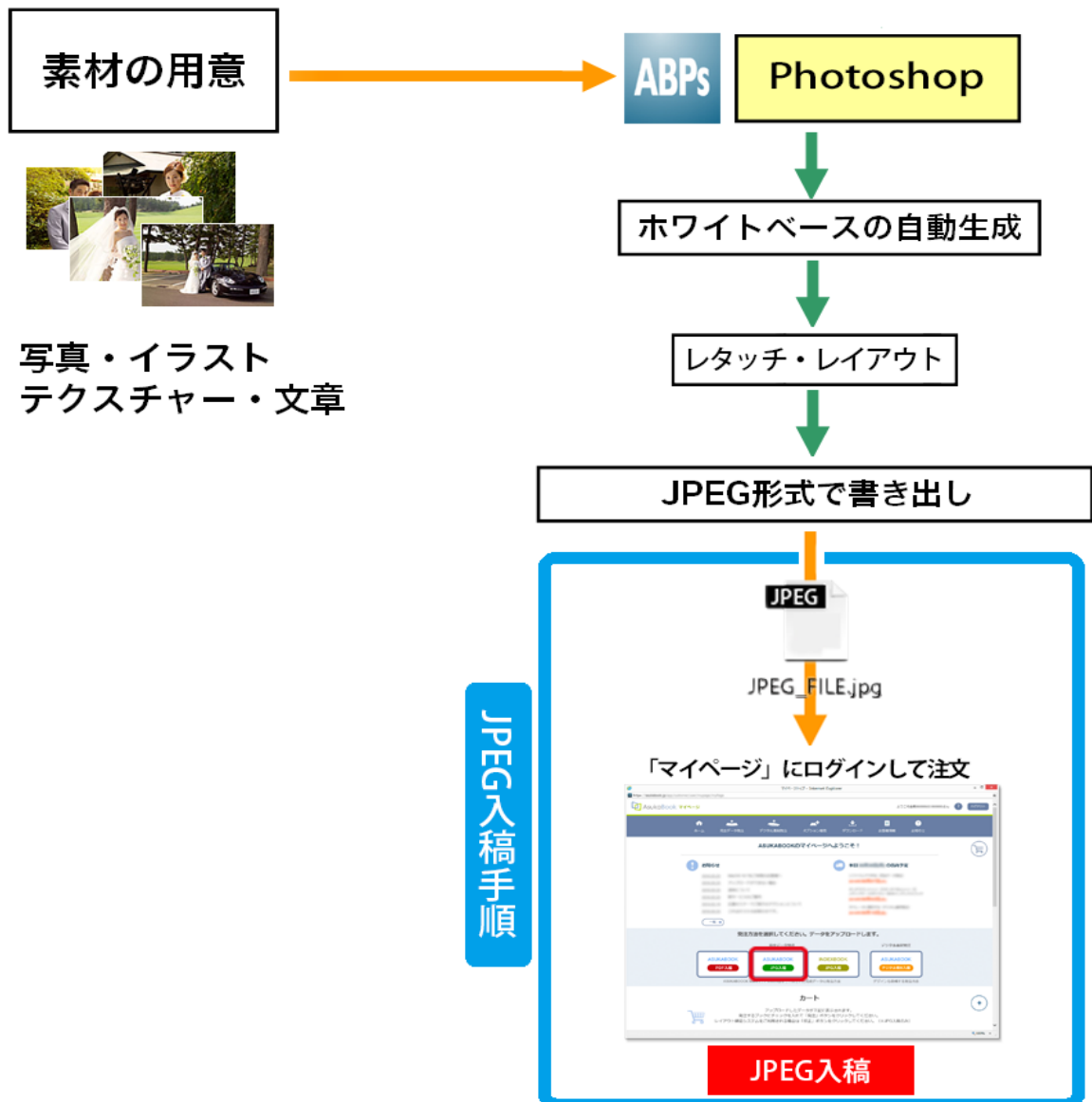
※ Photoshop 2024(25.12)、Photoshop 2025(26.0 ～ 26.2) では、正しく動作いたしません

Photoshop 2025 (26.3以降) もしくは Photoshop 2024(25.11 以前) をご利用ください

1-4. ABPs作業の流れ

- ① 「ABPs」の「新規ホワイトベース」機能でホワイトベースを作成します。
- ② Adobe Photoshop® の機能を使用してレタッチ・レイアウトします。
- ③ 「ABPs」の「書き出し」機能を選択し、JPEG ファイルを出力します。
- ④ マイページにログインして「JPG入稿」をクリックし、JPEG ファイルをアップロードして入稿します。

ABPsワークフロー



2. ABPs のご利用にあたっての注意事項

2-1. カラーマネージメントとご利用になれる画像について

① RGB モードで使用する

ASUKABOOK® では「RGB 入稿方式」を採用しています。このため、「ABPs」でもドキュメントであるホワイトベースを「RGB モード」で生成しています。また、カラープロファイルは、「sRGB」および「AdobeRGB」を選択できます。このためご利用になる画像やイラストも原則として全て「RGB モード」のものをご利用ください。

② ホワイトベースには使用する写真素材と同じプロファイルを設定する

ABPs では「AdobeRGB」か「sRGB」のどちらかを選択して利用することができます。作成したホワイトベースと異なるプロファイルの画像を使用すると Adobe Photoshop® 上でホワイトベースのプロファイルに変換されます。

例えば、ホワイトベースを「AdobeRGB」で生成した場合、「sRGB」画像は自動的に「AdobeRGB」に変換されます。Adobe 社のカラーマネージメントエンジンは非常に優れたものですが、不要な変換を行うことにより画像のコントラストや色合いが多少変化する場合があります。できるだけ使用する写真素材と同じカラープロファイルをホワイトベースに設定することをお奨め致します。

2-2. 小さな文字・細いライン についてのご注意

Adobe Photoshop® は、ピクセルデータなどのラスターサイズデータを扱うアプリケーションです。Adobe Photoshop® 上で描かれた、および貼付された全てのオブジェクト(画像、フォント、ラインなど)は最終的に JPEG ファイルに出力されます。このため、アンチエイリアス処理などにより小さな文字や、細い線などは不鮮明になる場合があります。このことを踏まえた上でのデザインを行って頂くようお願いいたします。

また、書き出された JPEG は、必ず Adobe Photoshop® で開いて確認するようお願いいたします。詳細部分を確認する際は、表示拡大率を 100% 以上にして確認してください。なお、JPEG 書き出し後の解像度は、一部のブックを除いて表紙が 260dpi、本文が 271dpi (です)。

2-3. 変換後の塗足し・トリミングの確認

- 同じ版型でも、縦横比が大きく異なる場合は、変換できません。
- 変換後のデータは、塗足し、トリミング等、必ずご確認ください。ブックによっては、大きく体裁が変わる場合があります。
- 「ABPs」にて生成されるホワイトベースは、本文ページ(開始ページ、見開きページ、最終ページ)については仕上がり寸法より「裁ち落とし」分だけ大きくなっています。



詳しくは、本書の「13-2. 塗り足し領域 について」13-1 ページをご覧ください。

3. ABPs のインストールと起動 macOS の場合

mac OS の場合

「ABPs」は、「ASUKABOOK.jp」のホームページの「サポートツール」の「ダウンロード」からダウンロードしてください。

ダウンロード：https://asukabook.jp/support_tool/download.html

この章では「ABPs」のダウンロードが完了しているものとして、インストールの解説を進めます。

3-1. macOSでのインストール

macOSコンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、以下の作業を行ってください。

必ず、Photoshopを終了してから作業を行ってください。

Windowsコンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、この章を読み飛ばして「4. ABPs のインストール Windowsの場合」4-1 ページからの作業を行ってください。

3-2. ダウンロードしたファイルの解凍

ダウンロードされたファイルは「Zip」(ジップ)という圧縮されたファイルになっていますので、そのままでは機能しません。「ABPs_set.zip」ファイルをダブルクリックすると自動で解凍し、「ABPs_set」というフォルダが出てきます。

ご注意

- 解凍後の「ABPs_set」フォルダは「デスクトップ上」に保存することを推奨いたします。
- インストール後に「ABPs_set」フォルダを別のフォルダやドライブに動かすと、「ABPs」が動作しなくなりますので、ご注意ください。もし移動した場合には、インストールをやり直してください。

解凍すると「ABPs_set」フォルダが現れます。

中には2つのファイルと、1つのフォルダが入っていることを確認してください。

① ABPs フォルダ

「ABPs」のプログラムが格納されているフォルダです。
数字はバージョンを示します。

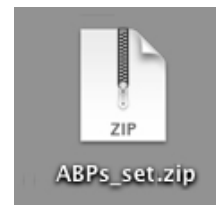
② ABPs_manual_1x.pdf

「ABPs」の取扱説明書(本書)です。

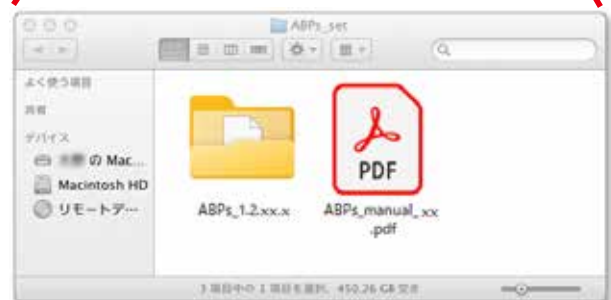
※xは、バージョン番号・記号となります。

アドバイス!

- 「ABPs」は、macOS、Windows 共用です。どちらのOSでも動作します。



ダウンロードした「ABPs_set.zip」ファイルを解凍すると「ABPs_set」フォルダが現れる。



3-3. macOSでのインストールと起動

ダウンロードして解凍した「ABPs_1.2.xx.x」フォルダを、Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダの中に①コピーもしくは、②読み込みます。

※ ①のコピーする方法を推奨いたします。②の方法は、「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを保持し都度同じ操作が必要となります。「x」は、実際にはバージョン番号(数字)となります。

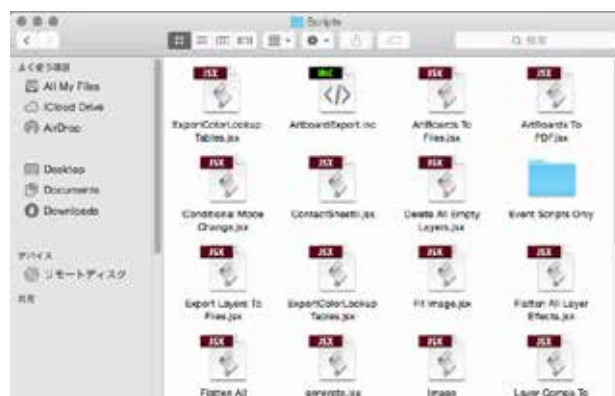
※過去バージョンの「ABPs」は自動的に削除されませんのでご注意ください。過去バージョンをアンインストールする場合には、「3-4. macOSでのアンインストール」3-6 ページをご覧ください。

① 「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする方法 (macOS の場合)

手順1 Photoshop の「Scripts」フォルダを開く

Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダは、Photoshopが「macintosh HD」にインストールされている場合は、**Macintosh HD→アプリケーション→Adobe→Adobe Photoshop CC XXXX→Presets→「Scripts」フォルダ**となります。この「Scripts」フォルダを開きます。

「Script」フォルダの設定によっては、ABPs が起動できない場合があります。詳細は、3-9 ページの「3-5. ABPs が起動しない場合」をご参照ください。



手順2 「ABPs_1.2.xx.x」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする

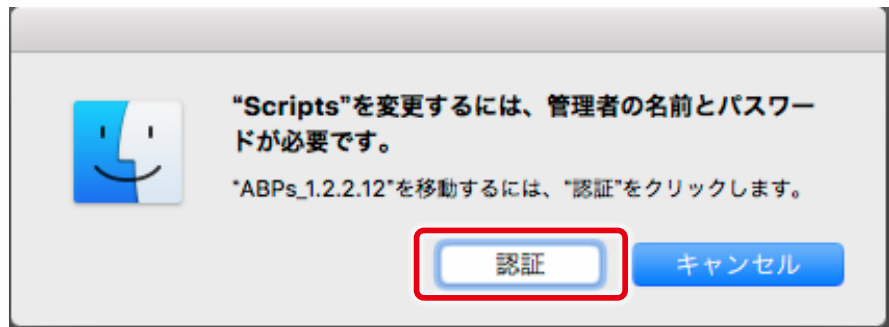
ダウンロードして解凍した「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを、Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダの中にドラッグしてコピーします。

※ 「ABPs1.2.x.xx」の「x」は、バージョン番号(数字)になります。



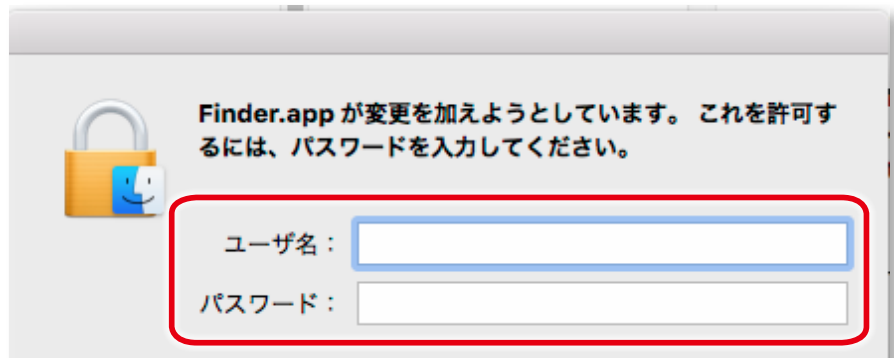
手順3 管理者権限の認証

「ABPs_1.2.xx.x」フォルダを、Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダの中にドラッグしてコピーする際に管理者の認証が必要になる場合があります。

**手順5 管理者権限の認証**

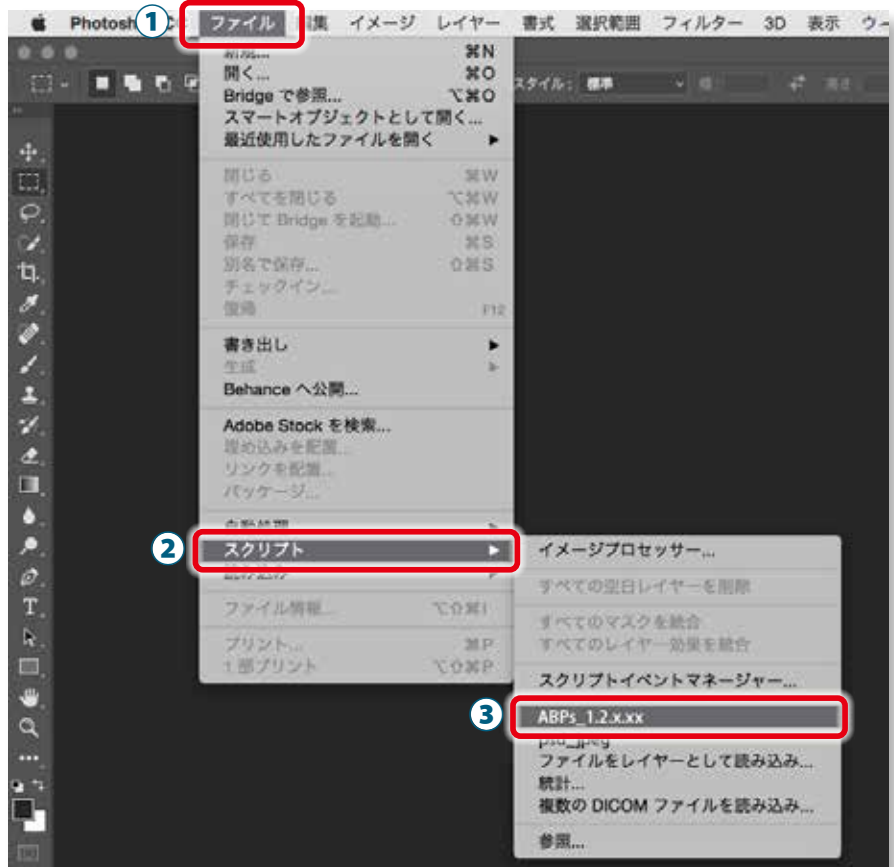
ユーザー名、パスワードを入力します。

※不明な場合は、システム管理者にお問い合わせ下さい。

**手順6 「ABPs」スクリプトのメニュー表示と起動**

Adobe Photoshop®が起動している場合は再起動します。

- ① 「ファイル」メニュー
- ② 「スクリプト」を選択
- ③ 「ABPs_1.2.x.xx」をクリックして起動します。



② 「ABPs」 スクリプトを都度、読み込んで起動する方法 (macOS の場合)

※こちらの方法は、ABPs1.2.x.xxフォルダを保持し都度同じ操作が必要となりますので、3-2 ページの「① 「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする方法(macOSの場合)」をお奨めいたします。

手順1 Adobe Photoshop® の起動

Adobe Photoshop®を起動してください。

手順2 「スクリプト／参照…」をクリック

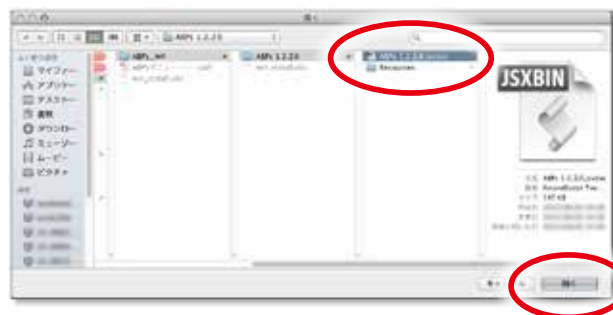
Adobe Photoshop®のメインメニューの「ファイル」から「スクリプト」と進み、さらにサブメニューの「参照」をクリックしてください。



手順3 「ABPs.jsxbin」を選択

ダウンロードして解凍した「ABPs」のフォルダの中に入っている「ABPs.jsxbin」を選択してください。

「開く」ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



右図のメッセージが表示されたら「OK」をクリックしてください。



「ABPs」の利用規程(右図参照)が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

- このメッセージは「ABPs」をご利用頂く上での注意事項と免責事項が書かれています。ご一読ください。
- 「次回以降表示しない」にチェックを入れると、次回以降からはこのメッセージを表示しないようになります。



「ABPs」の操作パネルが表示されるとインストールは完了です。
「閉じる」ボタンをクリックしてください。



手順4 Adobe Photoshop® を再起動する

「ABPs」を有効にするため、Adobe Photoshop®を一旦終了し、再度Adobe Photoshop®を起動してください。

●コンピュータを再起動する必要はありません。



なお、「ABPs」の操作方法については、「5. 「ABPs」の起動」5-1 ページ以降をご覧ください。

3-4. macOSでのアンインストール**mac OS の場合**

macOSにおいて「ABPs」をアンインストールする場合は、以下の方法で行ってください。

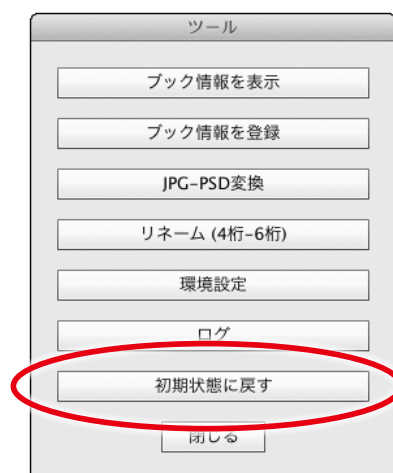
手順1 「ABPs」を初期状態に戻す

Photoshopを起動してください。

さらに「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックします。

**手順2 「初期状態に戻す」をクリック**

さらに「初期状態に戻す」ボタンをクリックしてください。



アンインストールできない場合は、**Macintosh HD →アプリケーション→Adobe → Adobe Photoshop CC XXXX → Presets → 「Scripts」フォルダ**から直接削除してください。



「ABPs」が初期化され、右図のメッセージが表示されます。



手順3 Adobe Photoshop® の「Scripts」フォルダを開く

まず、Adobe Photoshop®を終了してください。

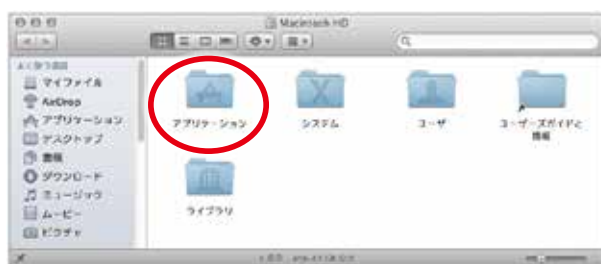
次に、デスクトップ上の「Macintosh HD」の起動ディスクをダブルクリックして開いてください。



- デスクトップ上に「Macintosh HD」が表示されていない場合は、Dockの「Finder」をクリックすると「Macintosh HD」のウインドウが表示されます。



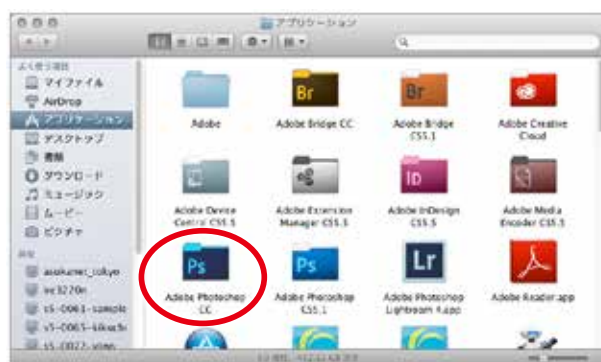
「アプリケーション」フォルダをダブルクリックして開いてください。



「Adobe Photoshop®」フォルダをダブルクリックして開いてください。

ご注意

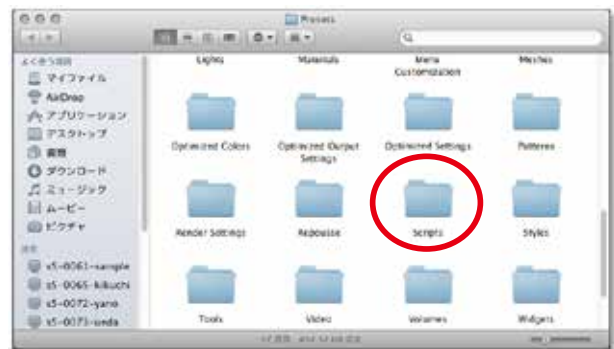
- Adobe Photoshop®のバージョン違いを複数インストールしている場合は、フォルダ名を確認しながら目的のバージョンのフォルダを探し出してください。



「Presets」フォルダをダブルクリックして開いてください。



さらに「Scripts」フォルダをダブルクリックして開いてください。

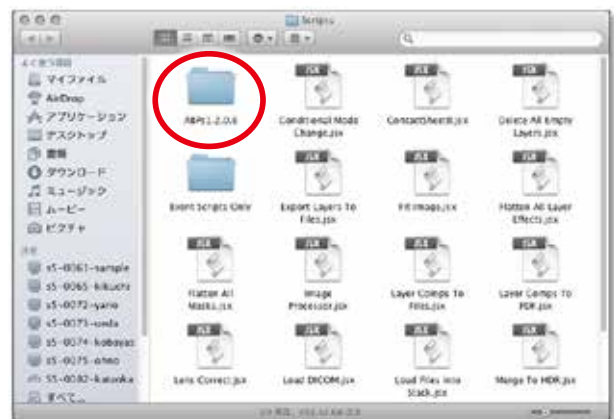


手順4 「ABPs」フォルダを取り除く

「Scripts」フォルダの中に「ABPs」というフォルダがインストールされています。この「ABPs」フォルダを「Scripts」フォルダの外に出してください（もしくは削除してください）。これにより「ABPs」は Adobe Photoshop® のスクリプトメニューから外れ、動作しなくなります。

ご 注 意

「Scripts」フォルダの中には Adobe 社が提供する数多くのスクリプトプログラムがインストールされています。誤ってこれらを削除しないように充分にご注意ください。



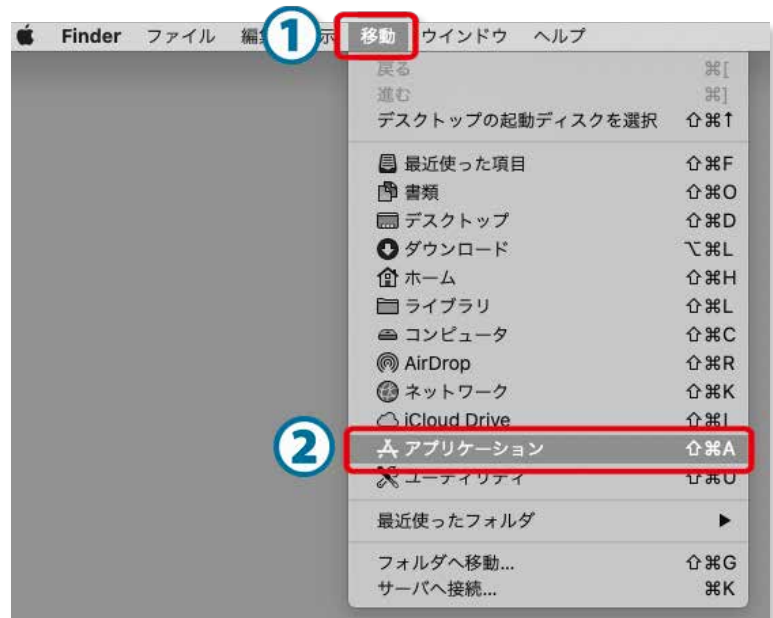
3-5. ABPsが起動しない場合

ABPsを起動して「管理者権限がありません・・・」というメッセージが出て起動しない場合は、下記の設定をしてください。

mac OS の場合

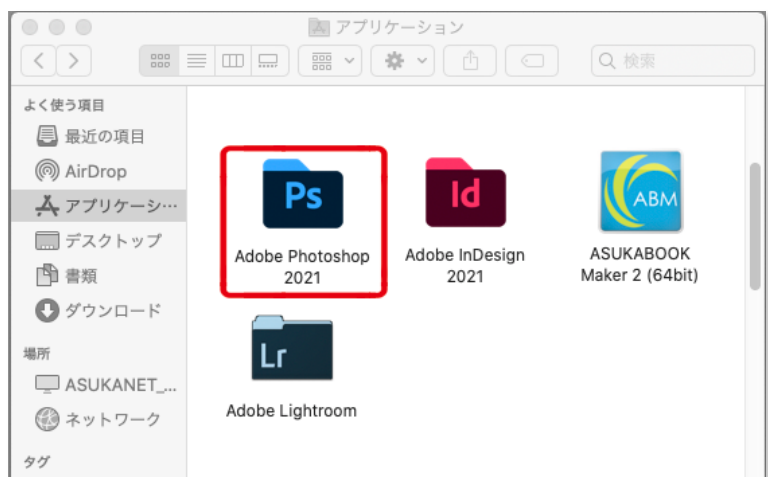
手順1 アプリケーションフォルダを開くを

- ①「移動」メニューを選択
- ②「アプリケーション」を選択してアプリケーションフォルダを開きます。



手順2 「Photoshop」のフォルダを開く

ABIdをインストールしたPhotoshopのフォルダを開きます。

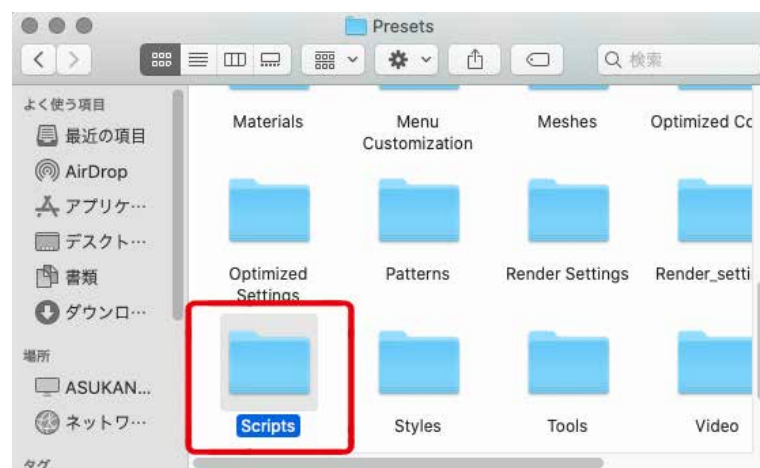


手順3 「Presets」フォルダを開く



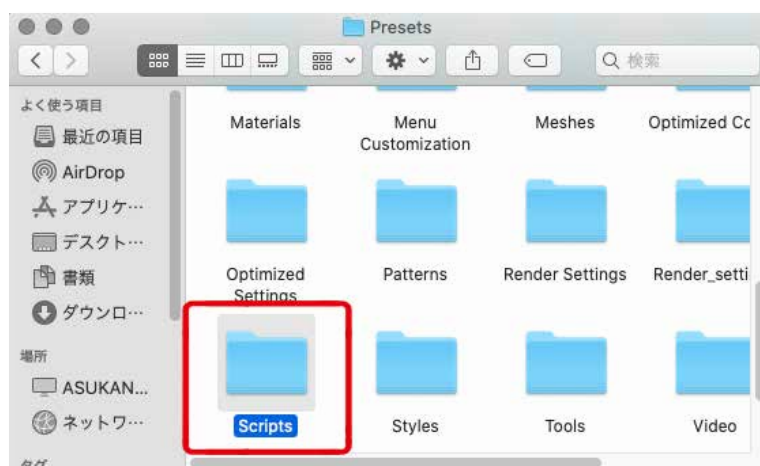
手順4 「Scripts」フォルダの選択

「Scripts」フォルダを選択します。開かないでください。



手順5 「Scripts」フォルダの選択

「Scripts」フォルダを選択します。開かないでください。





手順6 「Scripts」フォルダの情報を見る

- ① 「ファイル」メニューを選択します。
- ② 「情報を見る」をクリックします。




手順6 カギをクリック

- ① 一番下の「共有とアクセス権」の「カギ」アイコンをクリックを選択します。

- ② ユーザー名とパスワードを入力します。
- ③ 「OK」をクリックします。



手順7 アクセス権のセキュリティを解除

- ① 「アクセス権」の  アイコンをクリックを選択します。

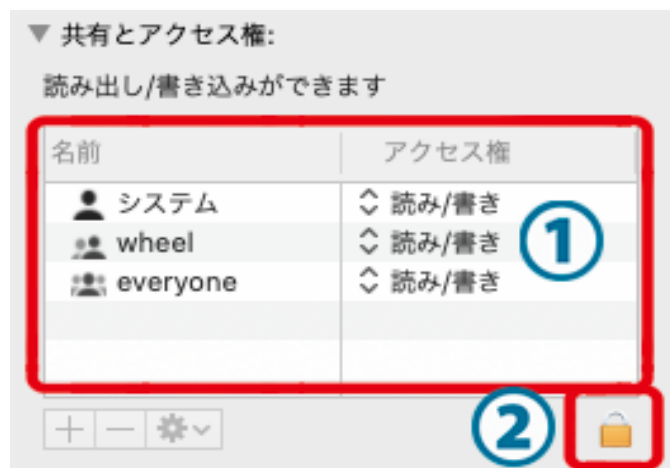


手順 7 アクセス権を「読み / 書き」に変更

① 「アクセス権」をすべて「読み / 書き」に変更します。

② 「カギ」アイコンをクリックしてカギを閉じてください。

Photoshopを再起動して、ABPsの起動を確認してください。



4. ABPs のインストール Windows の場合

Windows の場合

「ABPs」は、「ASUKABOOK.jp」のホームページの「サポートツール」の「ダウンロード」からダウンロードしてください。

ダウンロード：https://asukabook.jp/support_tool/download.html

この章では「ABPs」のダウンロードが完了しているものとして、インストールの解説を進めます。

4-1. Windows でのインストール手順

Windows コンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、以下の作業を行ってください。

必ず、Photoshop を終了してから作業を行ってください。

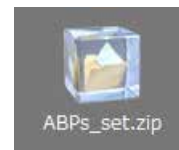
もし、macOS コンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、「3. ABPs のインストールと起動 macOS の場合」3-1 ページに戻って作業を行ってください。

4-2. ダウンロードしたファイルの解凍

ダウンロードされたファイルは「Zip」(ジップ)という圧縮されたファイルになっていますので、このままでは機能しません。

必ず解凍してからお使いください。

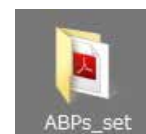
解凍すると「ABPs_set」というフォルダが出てきます。



ご注意

- Windows 11 では OS の標準機能として Zip ファイルを解凍することができます。

ダウンロードした「ABPs_set.zip」ファイルを解凍すると「ABPs_set」フォルダが現れます。



- 解凍後の「ABPs_set」フォルダは「デスクトップ」に置くことをお勧めいたします。

解凍すると「ABPs」フォルダと取扱説明書などが現れます。
中には2つのファイルと、1つのフォルダが入っていることを
確認してください。

① ABPs フォルダ

「ABPs」のプログラムが格納されているフォルダです。数字
はバージョンを示します。

② ABPs_manual_xx.pdf

「ABPs」の取扱説明書(本書)です。

※xは、バージョン番号・記号となります。

アドバイス！

- 「ABPs」は、macOS、Windows 共用です。どちらのOSでも動作します。



4-3. Windowsでのインストール

Windows コンピュータに「ABPs」をインストールする場合は、以下の作業を行ってください。
今まで「ABPs」をお使い頂いていた場合は、過去のバージョンを次の4-3-1で削除してください。
初めてご利用になる場合は、4-3-2にお進みください。

4-3-1.「ABPs」の過去バージョンを削除する

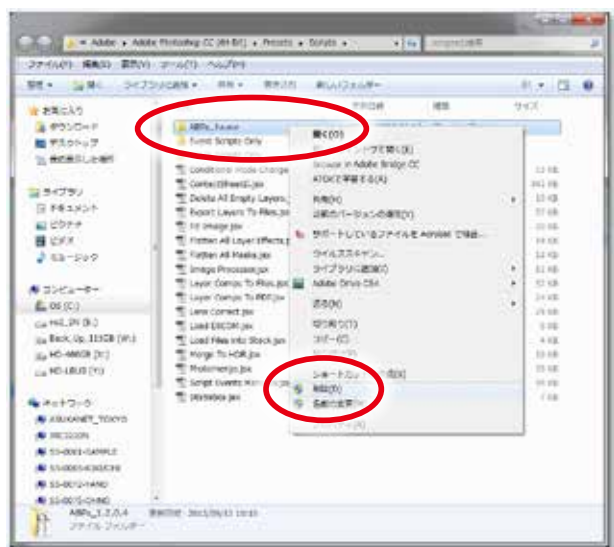
Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダを開きます。

(通常の「Scripts」フォルダの場所は、C:\Program Files\Adobe\Adobe Photoshop 20xx\Presets\Scripts となります)

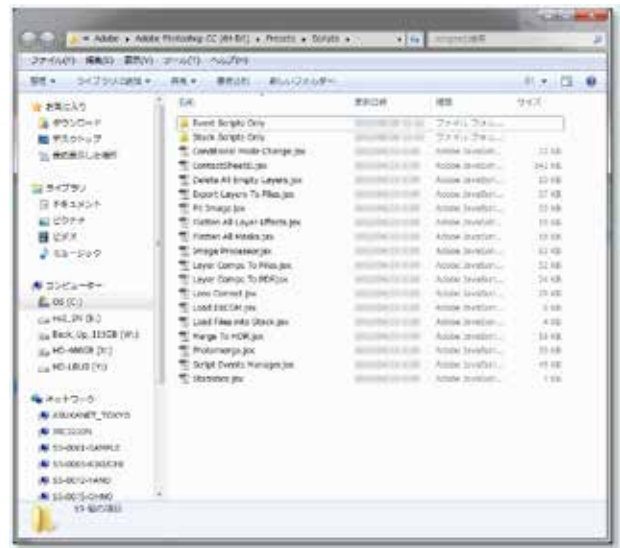
- 今回初めて「ABPs」をインストールされる場合は、「手順5」へ進んでください。

過去バージョンの「ABPs」フォルダを選択したら、右クリックしてください。プルダウンメニューが表示されますので「削除」をクリックすると、過去バージョンのフォルダが削除されます。

- 過去バージョンの「ABPs」フォルダを選択してから「DEL」キーを押すことでも削除できます。



過去バージョンの「ABPs」フォルダが削除されました。



4-3-2.「ABPs」のインストール ダウンロードした「ABPs」フォルダのコピー

手順1 解凍したフォルダを開く

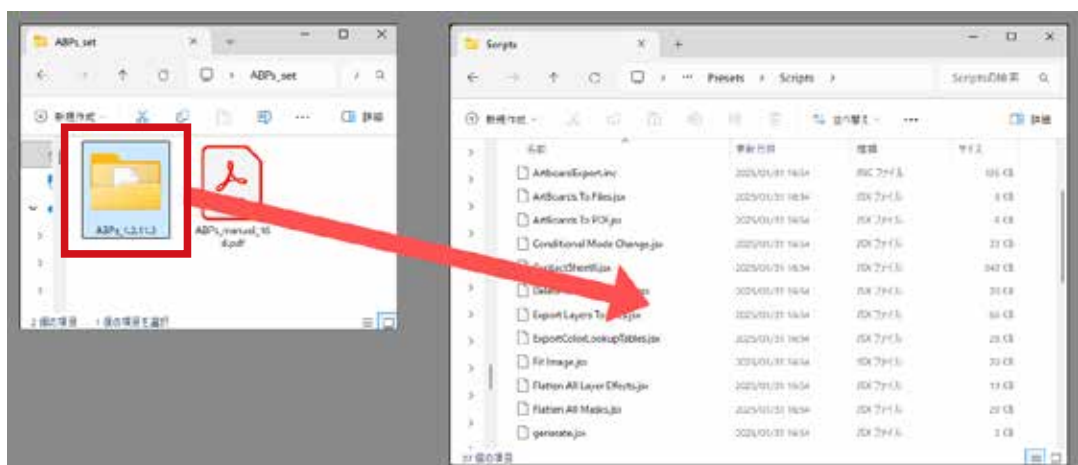
4-2でダウンロードした「ABPs_set.zip」を解凍し、そのフォルダを開きます



手順2 解凍した「ABPs」フォルダコピーする

フォルダの中にある「ABPs_1.2.xx.x」フォルダを、Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダの中にコピーします。

「Scripts」フォルダ：C:\Program Files\Adobe\Adobe Photoshop 20xx\Presets\Scripts

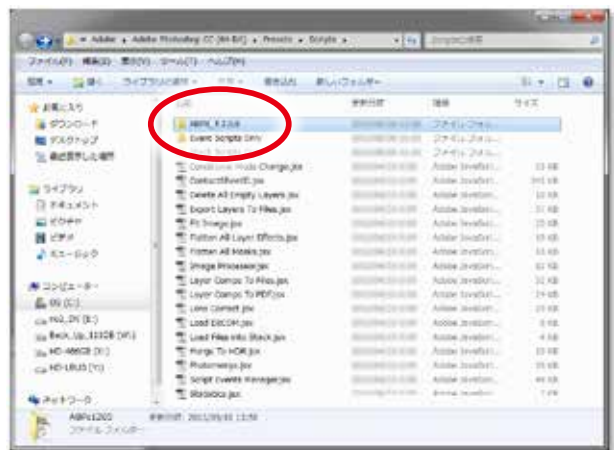


Windowsでは、右図の様に「管理者のアクセス許可」を求めるメッセージが表示されますので、「続行」をクリックしてください。



Adobe Photoshop®の「Scripts」フォルダに「ABPs」フォルダがコピーされたことを確認してください。

- 確認できましたら「スクリプト」フォルダを閉じてください。



手順3 Adobe Photoshop® を起動する

Adobe Photoshop®のアイコン上で右クリックし、「管理者として実行」でAdobe Photoshop®を起動してください。



「ABPs」の操作方法については、「5. 「ABPs」の起動」5-1 ページ以降をご覧ください。

4-4. Windowsでのアンインストール

Windowsにおいて「ABPs」をアンインストールする場合は、以下の方法で行ってください。

手順1 「ツール」をクリック

Adobe Photoshop®を起動し、さらに「ABPs」を起動してください。

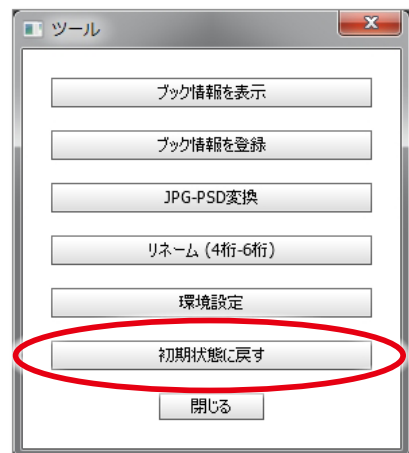
次に「ツール」ボタンをクリックしてください。

●「ABPs」の設定ファイルを削除します。



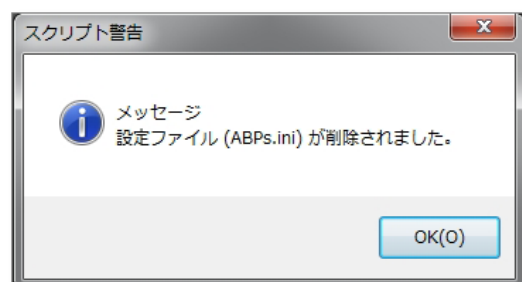
手順2 「初期状態に戻す」をクリック

「ツール」パネルを表示されますので、「初期状態に戻す」ボタン(右図赤丸印参照)をクリックしてください。



「ABPs」が初期化され、右図のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

※動作しない場合は、「4-3-1 過去のバージョンを削除する」をご参照ください。



5. 「ABPs」の起動

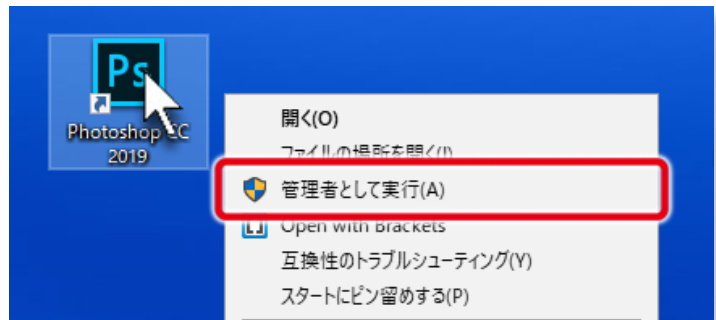
- ファイルやフォルダの表示についてはそれぞれのOSに依存しますが、基本的な操作方法はmacOSでもWindowsでも同様となります。

手順1 Photoshopの起動

Adobe Photoshop®を起動してください。インストールの際に起動している場合は、再起動が必要です。

Windowsの場合

Windows版の場合は、Adobe Photoshop®のアイコン上で右クリックし、「管理者として実行」で Adobe Photoshop®を起動してください。



mac OS の場合

macOS版の場合は、Adobe Photoshop®を通常通り起動してください。

※起動しない場合は、詳細は、3-9 ページの「3-5. ABPsが起動しない場合」



手順2 「ABPs」をクリック

Adobe Photoshop®が起動しましたら

- ①「ファイル」メニューを選択します。
- ②「スクリプト」をクリックします。
- ③「ABPs_xxxx」をクリックします。

- ABPSバージョン1.2.0.6からは、Photoshopのサブメニューに「ABPs 1.2.3.x」のようにバージョン番号が表示されるようになりました。

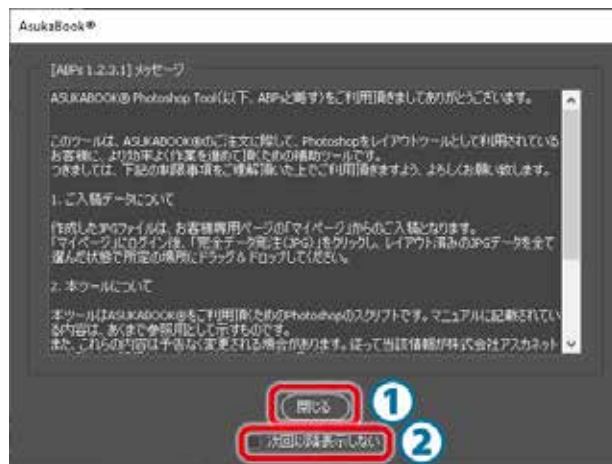


「ABPs」の利用規程(右図参照)が表示されます。

①「閉じる」をクリックしてください。

●このメッセージは「ABPs」をご利用頂く上での注意事項と免責事項が書かれています。ご一読ください。

②「次回以降表示しない」にチェックを入れると次回からこの画面は表示されません。



「ABPs」の操作パネルが起動します。

アドバイス！

「手順2」でメニューをクリックする行程が煩わしい場合は、Adobe Photoshop®のアクションに「ファイル/スクリプト/ABPs」を登録し、ショートカットキーを設定しておくと便利です。



ご注意 「3D 機能」に関する警告について

「ABPs」を起動する際、右図のメッセージが表示されることがあります。

このメッセージは Adobe Photoshop® CC に搭載されている「3D 機能」を利用するためにはお使いになっているコンピュータの表示装置のメモリ容量が不足している旨の警告です。

通常の写真画像処理では「3D 機能」を使用しません。もちろん「ABPs」でも「3D 機能」を使用しませんので、この警告が気になる場合は「再表示しない」にチェックを入れておくといでしょう。(赤枠部分参照)



6. ホワイトベース

ASUKABOOK®を制作するに当たり、商品の指定、紙面の大きさや解像度を指定した白紙のブックファイルを用意する必要があります。アスカネットではこの白紙のブックファイルを「ホワイトベース」と呼んでいます。「ABPs」はASUKABOOK®の商品名、サイズ、ページ数などを設定すればホワイトベースを自動生成することができます。

6-1. ホワイトベースの作成

手順1 「新規ホワイトベース」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「新規ホワイトベース」ボタンをクリックします。



手順2 ブックの仕様を選択

①商品名、サイズ、ページ数、加工、カラープロファイルを設定します。

※カラープロファイルは、カメラで設定しているプロファイルで大丈夫です。

②「OK」ボタンをクリックします。

③「商品画像」のチェックをはずすと、商品の写真が非表示になります

なお、「商品画像」にチェックを入れると右図のようにダイアログの下方に代表的な商品写真が表示されます。



ご 注 意

もし、右図のようなメッセージが表示される場合は、Adobe Photoshop®の新規作成における解像度の単位が「pixel/cm」になっています。

「キャンセル」をクリックしてホワイトベースの作成を中止して、Adobe Photoshop®の解像度単位の変更を行ってください。

変更の方法は次のページの「新規作成の解像度単位の変更方法」をご覧ください。

**アドバイス！**

「ABPs」は「pixel/inch」で解像度の指定を行っています。

ASUKABOOKは 表紙ページ、ケースは解像度260dpi、本文ページは271dpiとなっています。

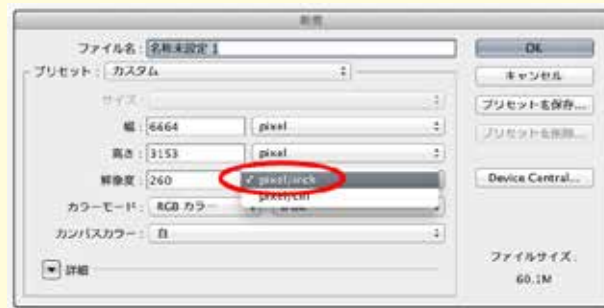
解 説**【解説】 新規作成の解像度単位の変更方法****手順1 「新規」を開く**

Adobe Photoshop®のメインメニュー「ファイル」から「新規」をクリックします。

**手順2 解像度単位の変更**

解像度の単位を「pixel/inch」に変更してください。その後「OK」ボタンをクリックしてください。

- この項目の設定変更を行った場合は、「OK」ボタンをクリックして一度何らかのファイルを作成してください。この操作を行わないと設定変更が有効になりません。



6-1-1. ブック仕様の選択について

- 「サイズ」、「ページ数」、「本文仕上げ」については、選択した「商品名」によって選択肢が変わります。
- 「サイズ」、「ページ数」、「本文仕上げ」については、後から変更することができます。
- 「カラープロファイル」は、基本的には使用する画像素材と同じプロファイルを選択してください。「sRGB」と「AdobeRGB」が混合する場合、および判断に迷う場合は「AdobeRGB」を選択してください。

すべてを選択したら「OK」をクリックしてください。

◆参考◆



ASUKABOOK® の特徴、種類については弊社のホームページ

https://asukabook.jp/products/products_list.html

をご覧ください。

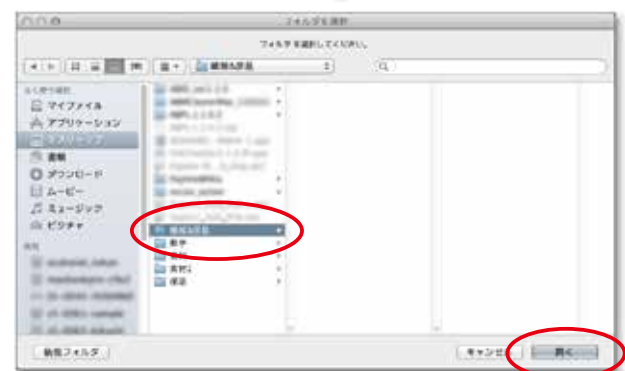


ブックファイルを作成するフォルダを選択

前の工程で「OK」ボタンをクリックしたことにより、「フォルダを選択」ダイアログが表示されます。

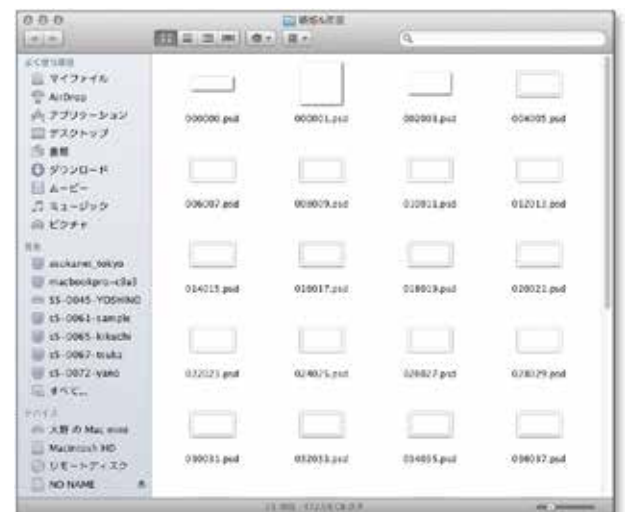
これから作成するブックファイルを保存する場所を選択して、「開く」ボタンをクリックすると、ホワイトベースの作成が始まります。

- ホワイトベースの作成には多少の時間が掛かります。時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。



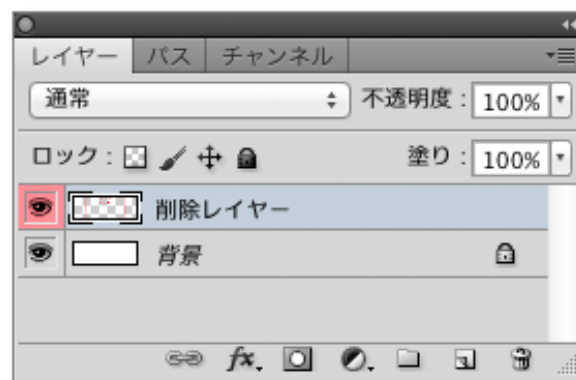
上記で選択したフォルダの中を確認してください。選択された商品名、サイズなどに相当するホワイトベースが生成されています。

このホワイトベースにPhotoshopの機能を利用してレイアウト及びデザインをしてください。レイアウトが終わりましたら保存してください。



6-2. ホワイトベースの仕様について

- 「ABPs」により生成するホワイトベースは、ひとつのフォルダに「表紙」、「本文」の全てをPSD形式画像ファイルとして生成されます。
- 「本文」ファイルは、解像度271dpi（ASUKABOOK®標準印刷解像度）で出力されます。「表紙」、「ケース」については、解像度260dpiで出力されます。
- ASUKABOOK®のホワイトベースは、全て「左綴じ」として生成されます。
- ケースが附属し、デザインができる商品の場合は「ケース」ファイルも生成されます。
- 商品名に「LX」とあるものは、「表紙ファイル」が「ケースファイル」に相当します。
「LX」は、表紙が合皮、もしくはデザイン用紙で装丁されるため、表紙の部分をお客様がデザインすることができません。ファイル名「000000.psd」は表紙ページではなく、ケース用のファイルとなります。
- 「本文」にはページの周辺部に幅3mmの「裁ち落とし」領域を設けています。また、「表紙」、「ケース」については、商品ごとにそれぞれ独自の裁ち落とし領域を設けています。なお、各ページの寸法と解像度を変更しないでください。変更すると、注文用PDFを書き出す際にエラーとなります。
- 「ABPs」が生成するホワイトベースには、下図のように赤字で書かれた解説が入っているページがあります。
この表記は「削除レイヤー」というレイヤーに書かれていますので、Photoshopのレイヤーパネルをご覧くださいと確認することができます。この解説や注意事項をよくお読みになり、レイアウトの参考にしてください。
削除レイヤーは、JPEG書き出しでは、書き出されますので必ずJPEGで書き出す前に削除してください。
また、この「削除レイヤー」は、FileCheckerで注文用PDFを書き出す際には出力されません。よってこの「削除レイヤー」に写真などのオブジェクトを配置していると注文用PDFに書き出されませんのでご注意ください。



「削除レイヤー」はレイヤーパネルで確認することができます。

解説 【解説】 カラープロファイルについて

① 写真素材にはカラープロファイルを埋め込む

写真素材として使用する画像ファイルには、必ずカラープロファイルを埋め込んでください。カラープロファイルは「sRGB」、もしくは「AdobeRGB」をご利用ください。

なお、プロファイルが埋め込まれていない画像ファイルについては、お客様がご利用のコンピュータの環境により、色調が本来の状態より異なる場合がありますので、ご注意ください。

現在のmacOS、およびWindows上で扱われる画像については、カラープロファイルを埋め込んで流通させることが、色調を維持する上での基本となっています。よって、カラープロファイルが埋め込まれていない画像については、印刷においても色の保証ができませんのでご了承ください。

② ホワイトベースのカラープロファイルの選択について

新規ホワイトベースの作成時の「手順2」においてカラープロファイルを選択する場合は、原則としてお使いのデジタルカメラに設定されているカラープロファイルと同じプロファイルを選んでください。

RAW 現像画像の場合は、現像時と同じプロファイルを選んでください。

JPEG 撮影の場合	デジタルカメラをお使いの場合、工場出荷状態では JPEG 撮影の画像は「sRGB」になります。なお、デジタルカメラを操作して撮影プロファイルを変更すれば「AdobeRGB」を利用することができます。
RAW 撮影の場合	撮影前ではなく、RAW データ現像の時点で「sRGB」もしくは「AdobeRGB」を選択することが出来ます。

画像ファイルのカラープロファイルは画像入力機器の状態によって決まります。デジタルカメラでJPEG撮影の場合は、工場出荷状態では「sRGB」に設定されています。なお、デジタルカメラを操作して撮影プロファイルを変更すれば「AdobeRGB」を利用することができます。詳しくはお使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

③ CMYK 画像は利用しない

ASUKABOOK®では「RGB入稿方式」を採用しています。このため、「ABPs」でもホワイトベースを「RGBモード」で生成し、カラースペースを「sRGB」もしくは「AdobeRGB」を選択して頂くようにしています。このためご利用になる画像やイラストは原則として全て「RGBモード」のものをご利用ください。

Adobe Photoshop®の動作としては、RGBモードで作成されたホワイトベースに対してCMYK画像を貼付(コピー)しても自動的にRGBモードに変換されますが、CMYKカラープロファイルの特性上、RGBモードに戻した場合の色調は保証の限りではありませんのでご注意ください。

7. 書き出し(注文用 JPEG の作成)

注文用 JPEG ファイルを書き出すには、「ABPs」の「書き出し」機能を使います。

※書き出す前にレイアウトしたホワイトベースを必ず保存しておいてください。

※ ABPs 1.2.2.9 から PDF データ作成用の File Checker は、ご利用になれません。

手順 1 「書き出し」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「書き出し」ボタンをクリックします。

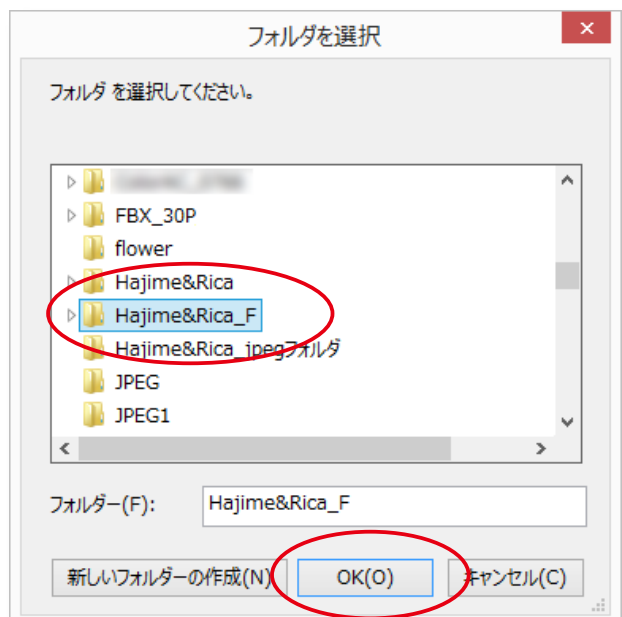


手順 2 PSD フォルダを選択

「書き出し」ダイアログが表示されますので、「PSD フォルダを選択してください」をクリックしてください。



「フォルダを選択してください」というメッセージのダイアログが表示されますので、Adobe Photoshop® でレイアウトを行ったブックファイルが入ったフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



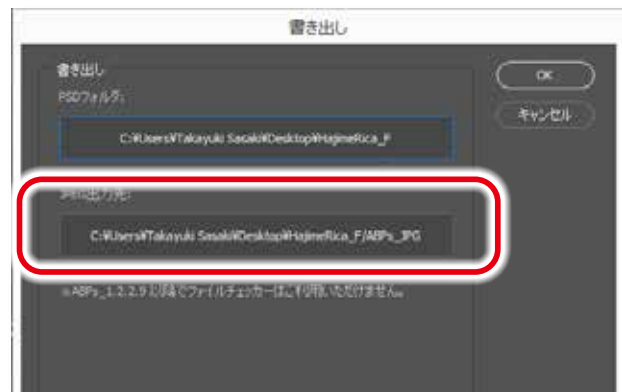


手順3 JPEG 出力先の選択

ダイアログが右図に戻ります。

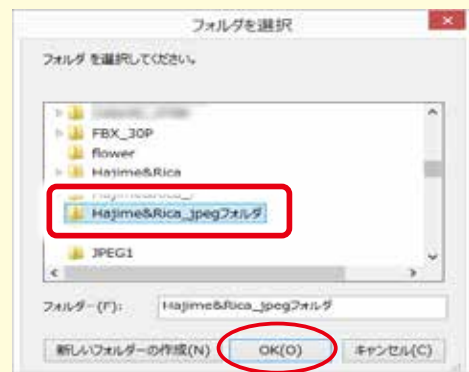
次にJPEGファイルの保存先フォルダを選択するのですが、「ABPs_1.2.2.4」からは、「手順-2」でPSDフォルダを選択した時点でこのフォルダの直下に「ABPs_JPG」というJPEGを格納するフォルダを自動的に作成するようにしました。

JPEGを格納するフォルダを特に決めていなければこの「ABPs_JPG」をそのままお使いください。



アドバイス！

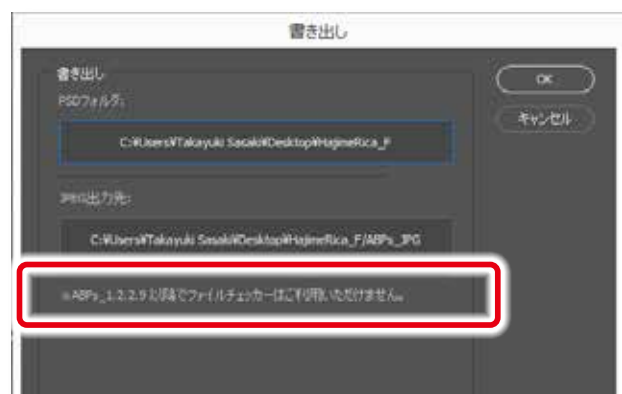
もし、「ABPs_JPG」以外のフォルダを指定する場合は、上図の赤枠部分をクリックすると右図の「フォルダを選択してください」というダイアログが表示されますのでJPEGファイルの保存先フォルダ(空のフォルダ)を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



ご注意

ABPs 1.2.2.9からPDFデータ作成用のFile Checkerは、ご利用になれません。

ご入稿はJPEGデータとなりますので、JPEGデータを書き出してください。



8. ブック変換

すでにレイアウトができあがったブックファイルを使って、ブックの種類、サイズ、ページ数を変えることによって別の写真集を作ることができます。

例えば、「EXレイフラット仕様、A3Q、60 ページ」を「ハードカバー、B5Q、40 ページ」に変換することができます。



ブック変換に関しましては、13-1 ページの「13. 編集上の注意」も併せてご参照ください。

8-1. ブック変換のルール

ABPsバージョン1.1 からは、ブック変換の方法を変更しています。

ASUKABOOKはシリーズとして24種類、サイズとしては最大12種類(2014年5月現在)をご用意しています。このため、ブック変換の組み合わせが膨大になりました。よって、変換元のブックファイルから変換先のブックファイルを直接生成する従来の方法を辞め、変換先のホワイトベースを予め用意してから、変換元のレイヤーを変換先のホワイトベースにサイズ変更してコピーする方法に切り替えました。また、過去に制作したブックファイルを現行のシリーズに変換するためのツールも用意しました。このことにより、シリーズ間で変換できる組み合わせが従来より多くなりました。

なおこの変更に伴い、お客様にて行っていただく作業がございます。予めご了承ください。

8-1-1. 事前の準備

① 変換先のブックファイルの用意

変換先のブックファイル (PSD フォルダ) は、ABPsの「新規ホワイトベース」にてあらかじめ新規で準備してください。



この方法については、「6-1. ホワイトベースの作成」6-1 ページをご覧ください。

② ブック情報

変換元のブックファイルには、すべてのページにアスカネットの「ブック情報」が記述されている必要があります。過去に制作されたブックファイルの場合にはこの「ブック情報」が記述されていない場合がありますので、この情報を登録するツールを用意しました。



この方法については、「9-3. ブック情報を登録」9-5 ページをご覧ください。

③ 6 桁のファイル名

変換元のブックファイルは、6 桁のファイル名である必要があります。過去に制作されたブックファイルには4 桁のものもあります。その場合、4 桁のファイル名を6 桁に変換するツールを用意しました。



この方法については、「9-5. リネーム (4 桁 -6 桁)」9-10 ページをご覧ください。

④ 扱えるファイルは「psd 形式」のみ

「ABPs」において扱えるブックファイルは、「psd」形式のファイルのみです。もし、過去に制作したブックファイルをJPEG形式に変換して保管されている場合には、Adobe Photoshop®を使って「別名で保存」にて「psd」形式ファイルに変換してください。「ABPs」では「JPEG→PSD変換」ツールをご用意しています。



この方法については、「9-4. JPG-PSD 変換」9-7 ページをご覧ください。8-1-2. 注意事項

⑤ ブック変換処理の方法

変換処理は、変換元のブックファイルセットを変換先のブックファイルセット(新規ホワイトベースで作成したファイル)にコピーすることで行われます。選択した変換元のブックファイルセットに変更が加えられることはありませんので、ご安心ください。

⑥ 本文ページと表紙・ケースは個別に変換を

ブック変換では、本文ファイルと本文ファイル以外(表紙ファイル、ケースファイル)を独立して個別に変換してください。

◆例えば、変換元のブックファイルセットに、本文ファイル、表紙ファイル、ケースファイルの3種類がある場合に、これを同じ商品名の小さいサイズに変換するには、ツールの「ブック変換」機能を3回利用して各ファイルごとに変換を行ってください。

⑦ ブック変換の制限事項

⑦-1. サイズ変換は、縮小の方向のみです。

小さいサイズから大きいサイズへの変換には対応していません。このため、異なったサイズの写真集を作成する際は、大きいサイズから作成してください。

例；B5Q から A3Q への変換はできません。

⑦-2. 本文ファイルと表紙・ケースファイルの互換性

表紙ファイルとケースファイルは、本文ファイルに変換することはできません。

その逆の変換、つまり本文ファイルを表紙ファイル、およびケースファイルに変換することはできます。

また、表紙ファイルとケースファイルはお互いに変換できます。

ACXは、表紙と裏表紙が分かれているため、双方向ともに変換できませんので、表紙のみ作り直してください。

変換できる例；ケースから表紙ページへ

変換できない例；表紙ページから本文ページへ

⑦-3. 縦横比が異なるブックサイズへの変換はできません。

変換できる例；A3Q→B5Q（いずれも正方形タイプ）

変換できない例；A3Q→A4（正方形タイプ→縦型タイプ）

⑧ 変換後にはレイアウト確認を

ブック変換は、仕上がり領域の高さ寸法を基準にサイズ調整を行っています。但し、一部適用されない商品もあります(例：塗り足しより内側にガイドラインがある商品)。このため、ブック変換後はレイアウトされたデザインの横方向、もしくは縦方向のレイアウトが変換元と比較して位置ずれや、塗り足しが不足することがあります。ブック変換後には、必ず変換先のブックファイルセットを開き、レイアウトの確認を行い、必要に応じて微調整を行ってください。

特に表紙ファイルの「背表紙」と「塗り足し」部分は位置ずれが起こりますので、必ず確認、微調整を行ってください。

解 説

ブック変換は、各ページの仕上がり領域の高さ寸法を基準に縮小を行っています。

変換元の各ファイルの「仕上がり高さ」寸法を読み取り、これを変換先ファイルの「仕上がり高さ」になるように調整をしています。このため、ブック変換後はレイアウトされたデザインの横方向が、変換先の表紙ページの横方向に対して位置ずれを起こすことがあり、確認、および微調整が必要です。

また、ブックサイズが異なっても紙の厚みは同じですので、ページ数が同じであれば背表紙は同じ厚みになります。「背

表紙」の部分には位置ずれが起こりますので、変換後には必ず変換先ファイルの表紙ページを開いてデザインの調整を行ってください。また、ケースファイルについても同様です。

⑨ カラープロファイルについて

変換元と変換先のブックファイルセットに埋め込まれているカラープロファイルがお互いに異なる場合は、ブック変換はできません。変換先のホワイトベース(ブックファイルセット)を作成する場合は、変換元のプロファイルをあらかじめ確認し、同じプロファイルを指定してください。

⑩ ページ数の増減について

ブックの種類、サイズを変更せずに、ページ数のみを変更すれば、ページを増やすことも、減らすこともできます。(一部制限あり)。ページ数を増やす場合は、最終ページの直前に空の白いページが挿入されます。



詳しくは「8-3. ブック変換／ページ数を増やす場合」8-12 ページ、および「8-4. ブック変換／ページ数を減らす場合」8-13 ページをご覧ください。

⑪ 変換ができない組み合わせ

「オンデマウント」、「オンデマウント KINARI」、「KINARI プレミアム」は、ブックの構造、および版型が他のシリーズと異なるため、ブック変換の対象になっていません。

これらのシリーズから他のシリーズにブック変換すること、および他のシリーズからこれらのシリーズに変換することはできません。

⑫ ブック変換の例外

「URUSHI」は他のシリーズと相互変換が可能です。ただし、表紙についてはレイアウトが大きく崩れますのでご注意ください。

「ZENレイフラト ACX」、「ボード ACX」は、他のブックと相互変換可能ですが表紙は変換できませんので新規に作成が必要です。

解説

他のシリーズは、表紙と裏表紙が見開き一つとなっています。しかし、「URUSHI」は表紙と裏表紙の構造が異なるため変換するとレイアウトが崩れます。また、「ZENレイフラト ACX」、「ボード ACX」は、表紙と裏表紙が二つに分かれているため変換を行いません。**従って表紙(裏表紙)は、新規に作成しなおしてください。**

8-2. ブック変換の基本操作

「ブック変換」の基本的な操作をご説明します。

ブック変換作業は、本文ページと表紙ページ(およびケース)を独立して行う必要があります。このため、変換作業を2回(ケースがある場合は3回)行うことになります。

手順1 「ブック変換」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ブック変換」ボタンをクリックします。



8-2-1. 変換先のホワイトベースの準備

手順2 変換先ホワイトベースの用意

ブック変換の設定を行うに前に、変換先のホワイトベースを準備しておく必要があります。

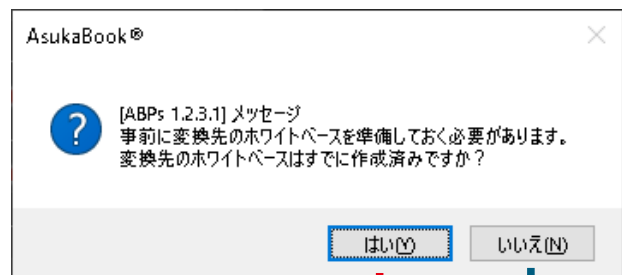
「ブック変換」ボタンをクリックすると、右図のメッセージが表示されます。

●もし、この時点で「変換先ホワイトベース」を準備している場合は「はい」をクリックして、「手順3」に進んでください。

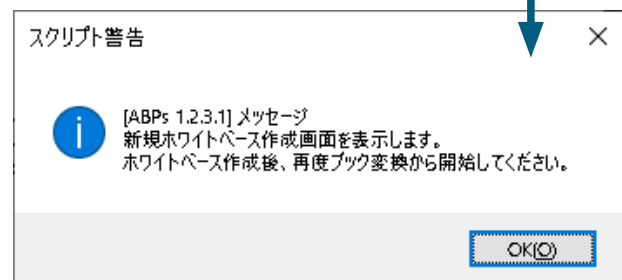
●「変換先ホワイトベース」を準備していない場合は「いいえ」をクリックしてください。

「いいえ」を選択した場合

右図のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、「6-1. ホワイトベースの作成」6-1ページの「手順2」の行程に進んでください。



手順3へ進む



詳しくは、「6-1. ホワイトベースの作成」6-1ページをご覧ください。



8-2-2. 本文ページの変換

手順3 「本文」を選択

ブック変換ダイアログが表示されます。

ブック変換は、「本文」と「本文以外」とを別々に行います。

まず、「本文」を選択してください(右図赤丸参照)。



手順4 変換元フォルダの選択

変換元：本文ファイル(psd)を含む「フォルダ」を選択するため、右図の赤枠部分の選択ボタンをクリックします。



①変換元ブックファイルが入っているフォルダを選択します。

②「OK」ボタンをクリックします。



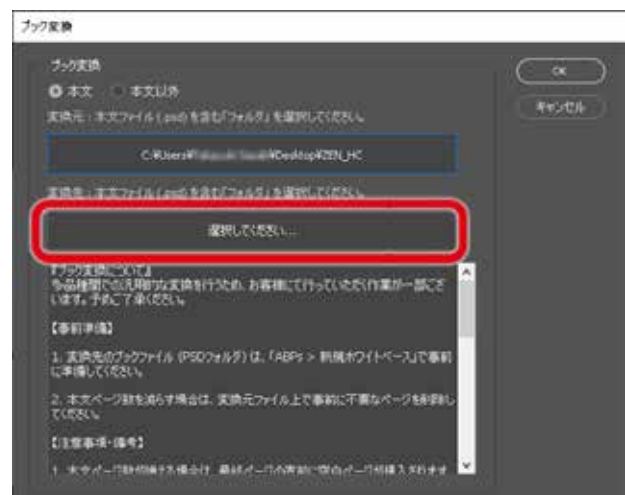
ブック変換ダイアログに戻ります。

変換元の選択ボタンに変換元のフォルダパスが表示されます。



手順5 変換先フォルダの選択

変換先のホワイトベースが入っているフォルダを選択するため、右図の赤枠部分の選択ボタンをクリックします。



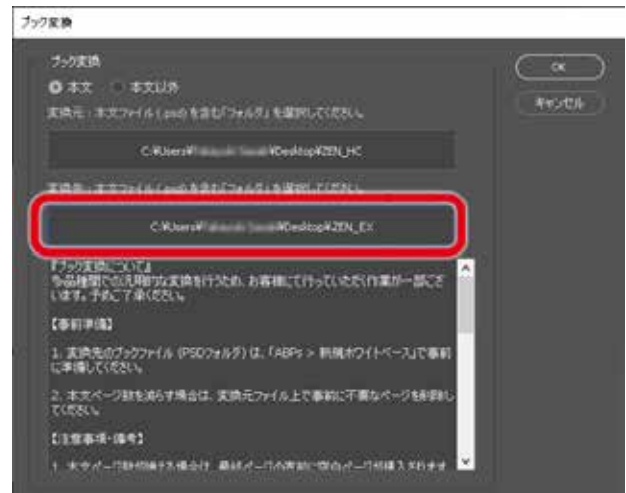
① 変換先のホワイトベースが入っているフォルダを選択します。

② 「OK」ボタンをクリックします。



ブック変換ダイアログに戻ります。

変換先の選択ボタンに変換先のフォルダパスが表示されます。



手順6 変換の実行

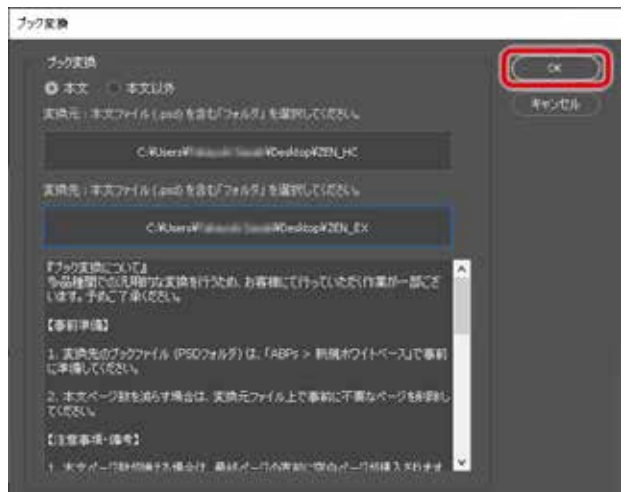
ここまでの操作で変換元、変換先のフォルダの選択ができました。

「OK」ボタンをクリックするとブック変換が始まります。

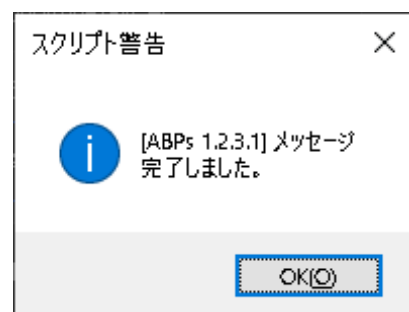
アドバイス！

ブック変換は、Adobe® Photoshop® が変換元と変換先のブックファイルを開いてレイヤーのコピーを自動で行います。この間、ある程度の時間がかかります。この時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。

なお、Adobe Photoshop® が動作中はコンピュータの負担を減らすため、他の作業をできるだけしないでください。

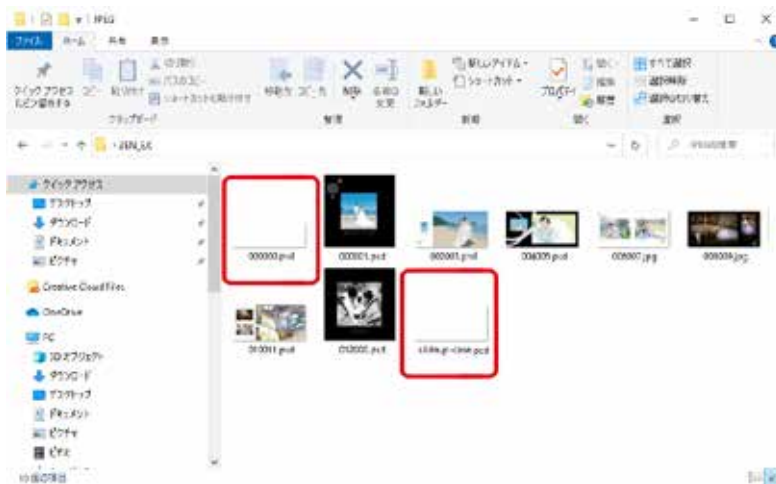


本文ページの変換が終わると、右図の様なメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、ブック変換の結果として変換先フォルダが表示されます。

- ここまでは本文ページの変換ですので、表紙ページ(ファイル名が000000.psd)、およびケースファイル(slideup-case.psd)のみが白紙の状態になっています。(右図赤丸印参照)



8-2-3. 表紙ページの変換

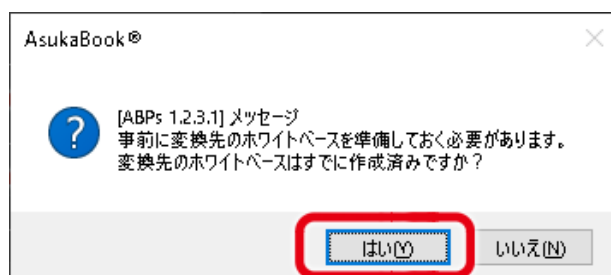
つぎに表紙ページ(およびケースファイル)の変換を行います。再度「ABPs」を起動して操作パレットを表示してください。

手順7 「ブック変換」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ブック変換」ボタンをクリックします。



「ブック変換」ボタンをクリックすると、右図のメッセージが表示されます。すでに前の行程で本文ページの変換を行っており、変換先のホワイトベースは準備されていますので、ここでは「はい」をクリックしてください。





手順8 「本文以外」を選択

ブック変換ダイアログが表示されます。

本文ページの変換は前の行程ですで行いましたので、ここでは「本文以外」を選択してください(右図赤丸参照)。



手順9 変換元ファイルの選択

変換元：表紙 他にケース等の「ファイル(psd)」を選択するため、右図の赤枠部分の選択ボタンをクリックします。



変換元ブックファイルが入っているフォルダを選択します。

①そのフォルダの中の表紙ページファイル「000000.psd」を選択します。

③「OK」ボタンをクリックします。

●この例では「表紙ファイル(000000.psd)」を選択しています。



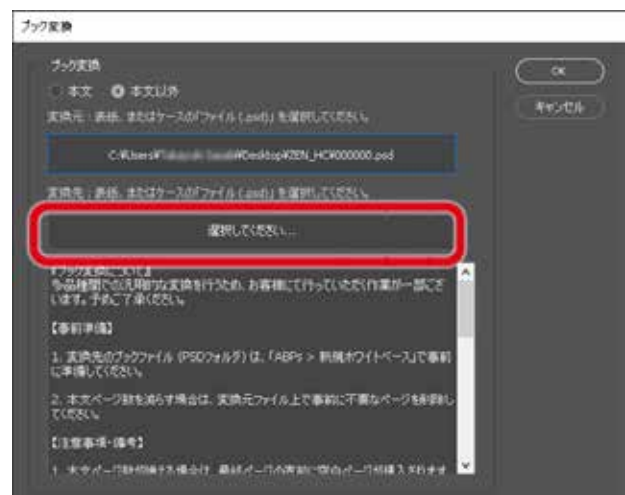
ブック変換ダイアログに戻ります。

変換元の選択ボタンに変換元の表紙ページファイルのパスが表示されます。

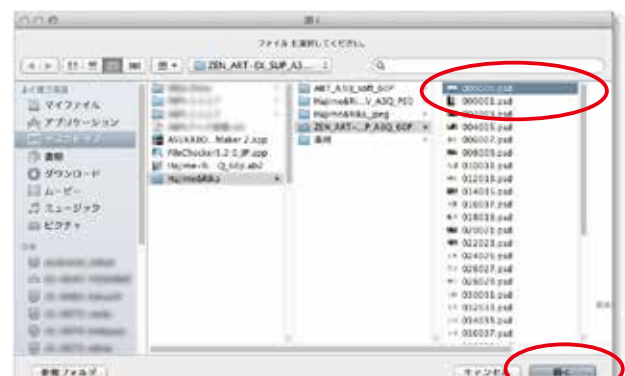


手順10 変換先ファイルの選択

変換先のホワイトベースが入っているフォルダを選択するため、右図の赤枠部分の選択ボタンをクリックします。



変換先の表紙ページファイル(ホワイトベース)が入っているフォルダを選択し、さらにそのフォルダの中の表紙ページファイル「000000.psd」を選択して、「開く」ボタンをクリックします。



ブック変換ダイアログに戻ります。

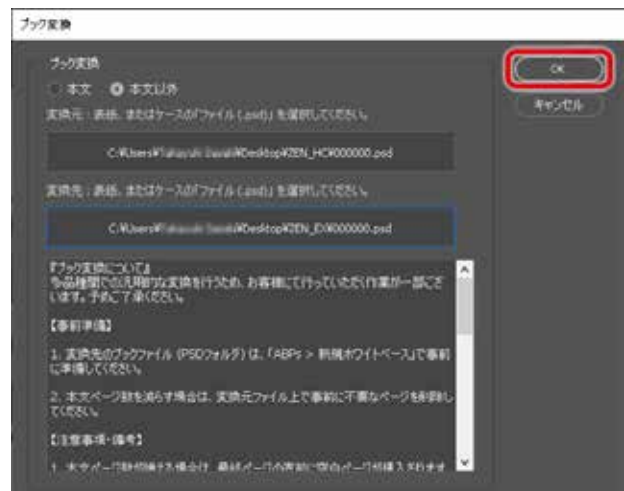
変換先の選択ボタンに変換先の表紙ページファイルのパスが表示されます。



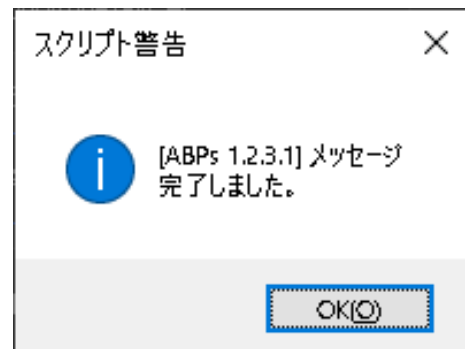
手順11 変換の実行

変換元、変換先の表紙ページファイルの選択ができました。

「OK」ボタンをクリックするとブック変換が始まります。



表紙ページの変換が終わると、右図の様なメッセージが表示されます。



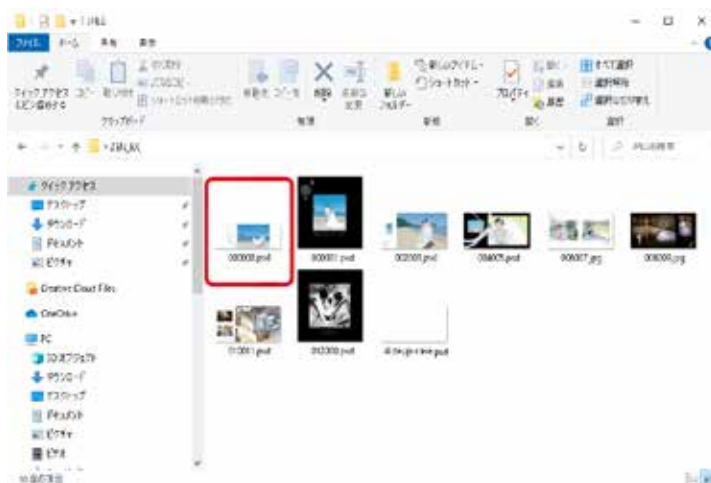
「OK」をクリックすると、ブック変換の結果として変換先フォルダが表示されます。

- 表紙ページ(ファイル名が000000.psd)の変換が終了したため、サムネイルが生成されたことが判ります。

(右図上方の赤丸印参照)

- 他にケースなどの変換を行う場合は、同じように変換してください。

※表紙は表紙、ケースはケースというように同じファイルで版型が同じであれば変換可能です。



8-3. ブック変換／ページ数を増やす場合

ページ数を変更する操作においても、「新規ホワイトベース」の操作にて予めページ数を増やした(もしくは減らした)変換先を作成しておき、「ブック変換」を使って本文ページと表紙ページ(およびケース)を独立して変換作業を行います。

◆例えば、「60 ページ」から「80 ページ」に変更する場合

変換元の開始ページから59ページまでは変換先にそのままコピーされ、最終ページ(60ページ目)は変換先の最終ページ(80ページ目)にコピーされます。変換先の60ページから79ページまでは白紙となります。

変換元 (60 ページ)



変換先 (80 ページ)

●ページ数を増やす場合の作業手順

- ①変換先のブックファイルとして「80 ページ」のホワイトベースを新規に作成する。
- ②「ブック変換」機能を使って、変換元に編集集中のブックファイル「60 ページ」を設定、変換先に①の「80 ページ」を設定して変換。
- ③表紙ページも②と同様に変換。
- ④変換先(80 ページ) の表紙ページのレイアウトを確認・調整する。
となります。

8-4. ブック変換／ページ数を減らす場合

ページ数を減らす場合は、まず変換先にページ数を減らしたホワイトベースを新規に作成しておき、「ブック変換」を使って本文ページと表紙ページ(およびケース)を独立して変換します。

◆例えば、「60 ページ」から「50 ページ」に変換する場合は、変換元の開始ページから 49 ページまでは変換先にそのままコピーされ、最終ページ(60 ページ目)は変換先の最終ページ(50 ページ目)にコピーされます。変換元の 50 ページから 59 ページまではコピーされません。

変換元 (60 ページ)



●ページ数を減らす場合の作業手順

- ① 変換先のブックファイルとして「50 ページ」のホワイトベースを新規に作成する。
- ② 「ブック変換」機能を使って、変換元に編集集中のブックファイル「60 ページ」を設定、変換先に①の「50 ページ」を設定して変換。
- ③ 表紙ページも②と同様に変換。
- ④ 変換先(50 ページ) の表紙ページのレイアウトを確認・調整する。
となります。

9. ツール

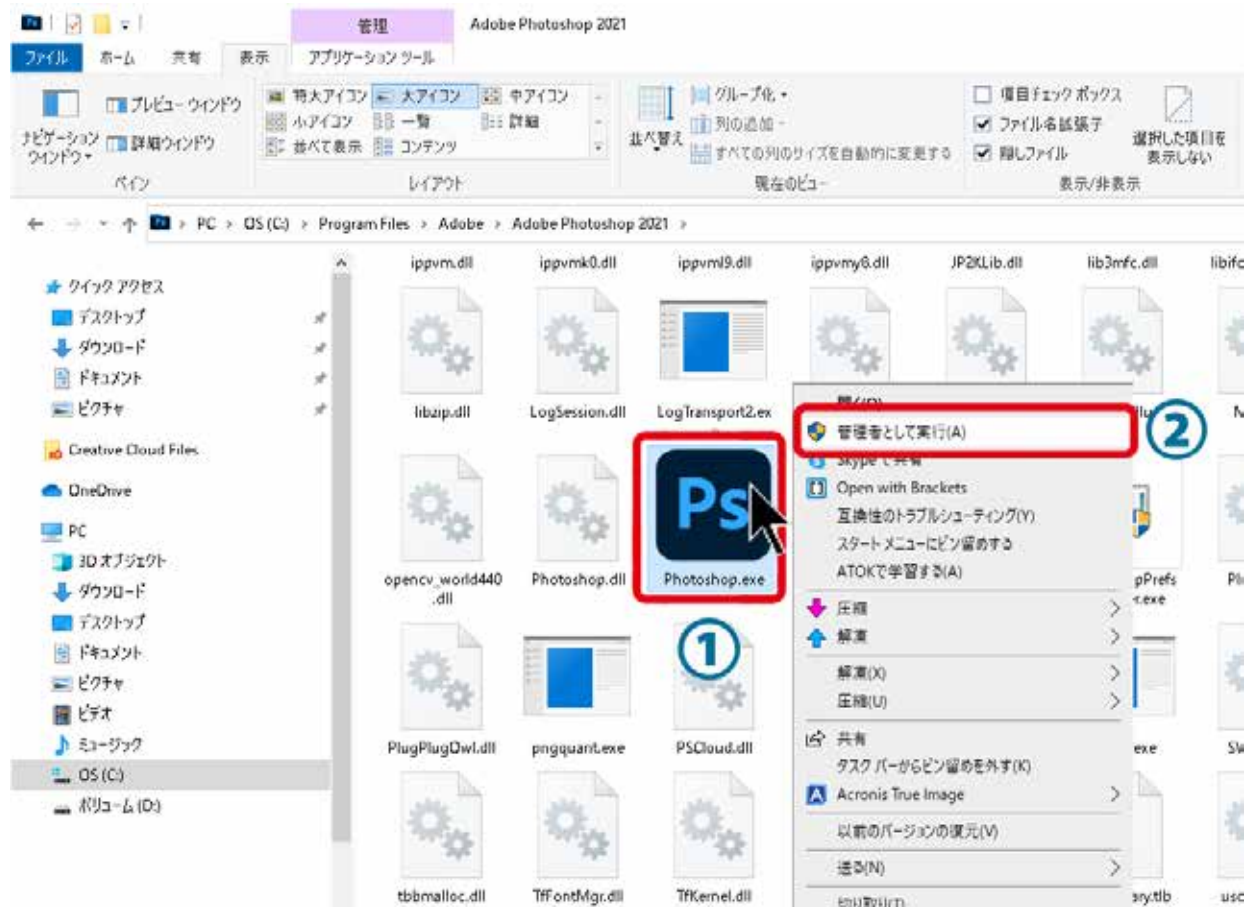
「ABPs」はバージョン1.1からブック変換の方法を大幅に変更いたしました。これに伴い、以前に作成したASUKABOOK®を、現行のシリーズに変換できるようになりました。この変換を補助するためのツールを用意しました。

管理者権限での実行

※ Windows 版の場合は、Photoshopを「管理者権限」で起動してください。

Cドライブを開きます。Program Files→Adobe→Adobe Photoshop 2021

「Photoshop.exe」を右クリックして「管理者権限」で起動します。



9-1. 「新規ホワイトベース」表示項目の変更

◆使い方

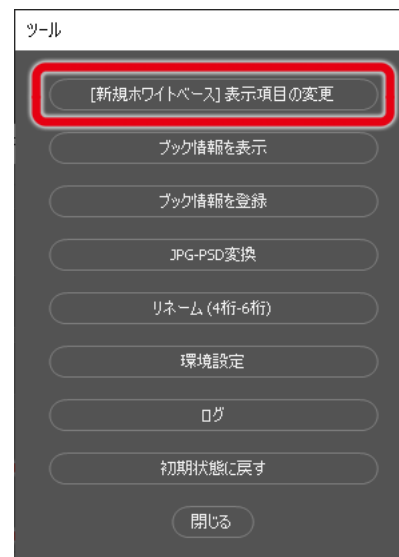
手順1 「ABPs」の起動

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ツール」ボタンをクリックします。



手順2 「新規ホワイトベース」表示項目の変更をクリック

「ツール」パネルが表示されますので、「新規ホワイトベース」表示項目の変更をクリックしてください。



手順3 ブックを選択

- ① 表示したくないブックを選択します。
- ② 矢印キーで表示したいブックを「無効」エリアに移動します。
- ③ 無効な商品として表示されます。
- ④ 「決定」ボタンをクリックします。

新規ホワイトベースの作成の際に無効にある商品は、表示されなくなります。



※ Windows版で動作しない場合は、9-1 ページの「管理者権限での実行」をご参照ください。

9-2. ブック情報を表示

「ABPs」で作成したブックファイル(ホワイトベース)には、ASUKABOOK®の商品名、サイズなどの情報を各PSD形式ファイルに埋め込んでいます。この情報を「ブック情報」と呼びます。

「ブック情報を表示」ボタンは、「ブック情報」を確認するための機能です。

◆使い方

手順1 「ABPs」の起動

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ツール」ボタンをクリックします。

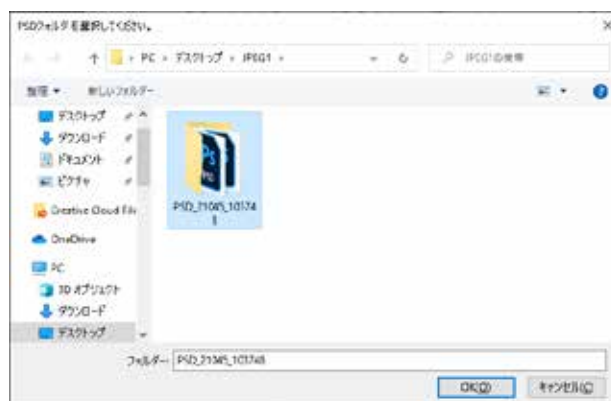


手順2 「ブック情報を表示」をクリック

「ツール」パネルが表示されますので、「ブック情報を表示」をクリックしてください。

**手順3 フォルダを選択**

ブック情報を確認したいブックのフォルダを選択し、「開く」をクリックしてください。



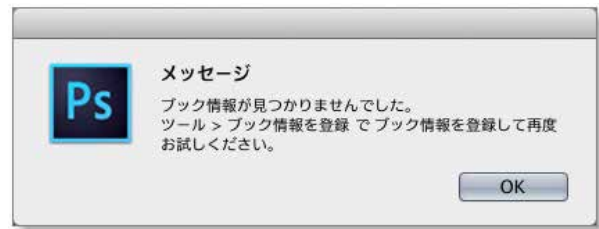
選択したブックの「ブック情報」が表示されます。



もしくは

◆ブック情報が登録されていない場合

選択したブックに「ブック情報」が存在しない場合には、右図のメッセージが表示されます。



9-3. ブック情報を登録

「ABPs」のバージョン1.1以前のバージョンで制作したブックファイル、および「ABPs」を使用しないで作成したブックには、ABPs独自の「ブック情報」が埋め込まれていないため、「ABPs」バージョン1.1以降で使用する事ができません。このため、「ブック情報を登録」機能を使ってブックファイルにブック情報を登録してください。

◆使い方

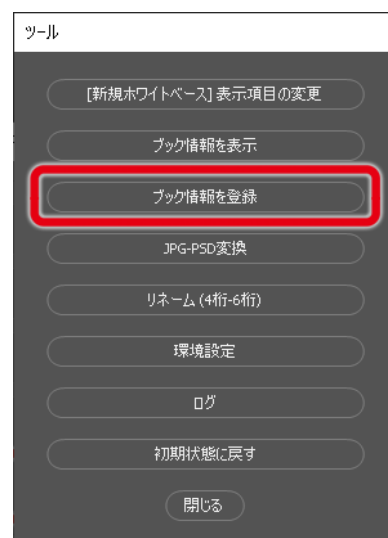
手順1 「ツール」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックしてください。



手順2 「ブック情報を登録」をクリック

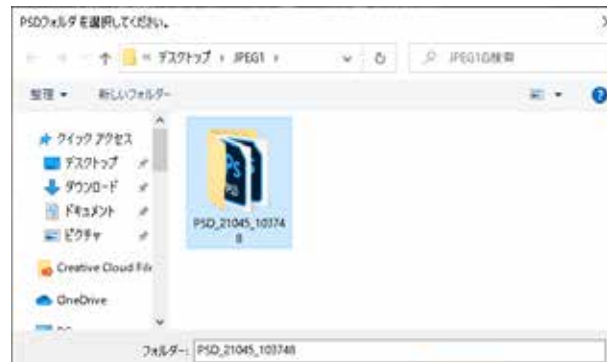
「ツール」パネルが表示されますので、「ブック情報を登録」ボタンをクリックしてください。





手順3 フォルダを選択

ブック情報を登録したいブックのフォルダを選択し、「OK」をクリックしてください。



手順4 ブック情報の判定

Adobe Photoshop® がいくつかのページを開き、サイズ、ページ数などからブック情報を判定し、結果を表示します。(右図参照)

判定が付かない項目は右図のように「選択してください…」と表示されますので、その項目をクリックして適切なものを選択してください。



①商品名、サイズ、ページ数。本文仕上、カラープロファイルを選択します。

②「OK」をクリックするとブック情報の登録完了です。

ブック情報の登録が完了すると、右図のメッセージが表示されます。

●ブック情報を登録することにより、ブック変換が行えるようになります。

9-4. JPG-PSD 変換

「ABPs」で扱えるファイル形式は「PSD 形式」のみになっています。このため、利用したいブックフォルダに「JPEG 形式」のファイルが混ざっている場合は「PSD 形式」ファイルに変換する必要があります。

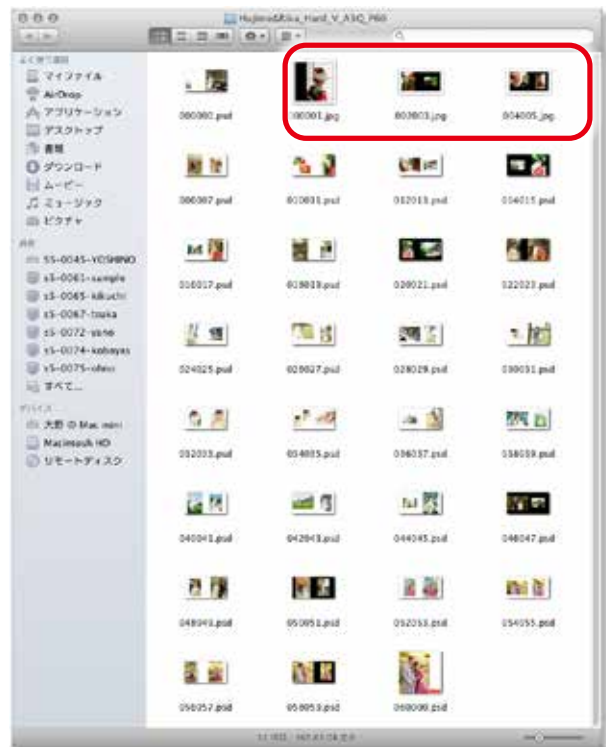
このような場合は、「JPG-PSD 変換」機能を利用してください。JPEG データを PSD データに一括変換します。

ご 注 意

PSD 形式に変換しても、制作時のレイヤーが復元できるわけではありません。ファイル形式が変わるだけです。

◆例題

例えば、右図赤枠のように、利用したいブックフォルダの中に 3 つの JPEG 形式のファイルが混在しているとします。



◆使い方

手順 1 「ABPs」の起動

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ツール」ボタンをクリックします。

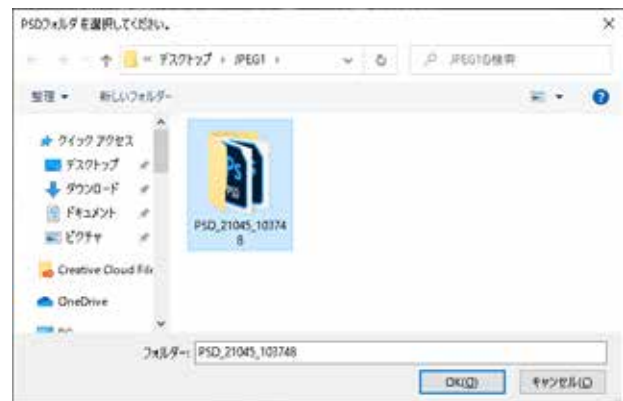


手順2 「JPG-PSD 変換」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。
さらに「JPG-PSD 変換」ボタンをクリックしてください。

**手順3 フォルダを選択**

JPEG形式のファイルが混在しているフォルダを選択し、「開く」をクリックしてください。

**手順4 完了**

Adobe Photoshop®がJPEG形式のファイルのみを開き、PSD形式に変換した別フォルダに保存します。



確認

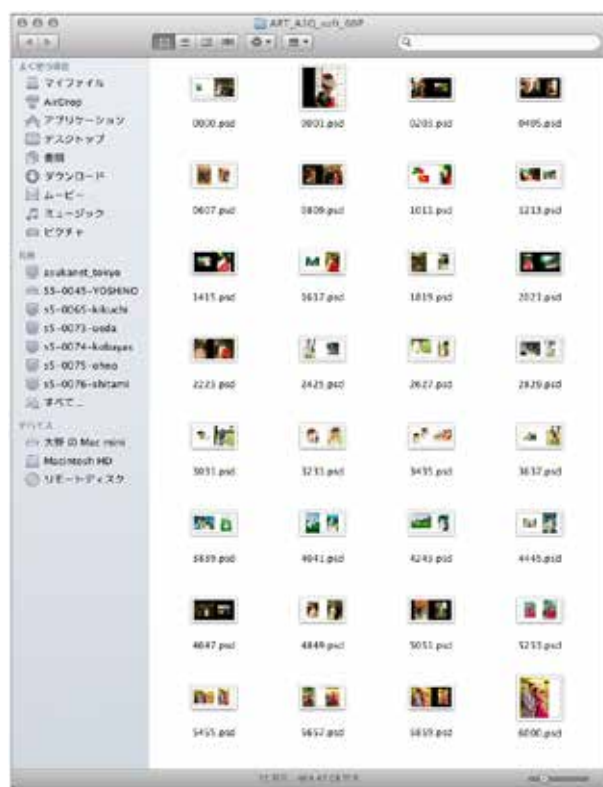
PSD形式に変換されたファイルは、「手順2」にて選択したブックフォルダの中に「PSD・・・」という名称のフォルダに入っています。このPSDファイルをJPEGファイルと入れ替えてください。



9-5. リネーム(4桁-6桁)

アスカネットにおいて過去にご提供していたホワイトベースはファイル名が4桁でした。(右図参照)

ASUKABOOK®は2009年3月にファイル名を6桁に変更しました。現行の「ABPs」は6桁ファイル名にのみ対応しているため、4桁ファイル名のブックファイルを扱う場合はファイル名を6桁に変更する必要があります。これを自動的に行うのが「リネーム(4桁-6桁)」機能です。



◆使い方

手順1 「ABPs」の起動

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ツール」ボタンをクリックします。

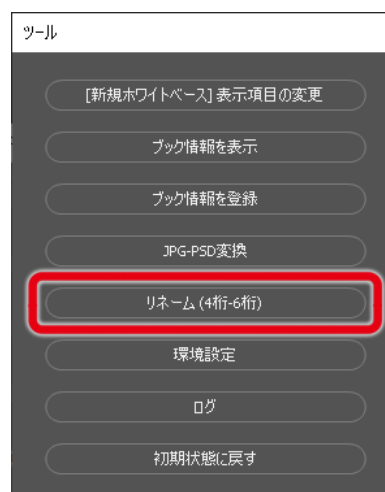


◆使い方

手順2 「リネーム (4桁-6桁)」をクリック

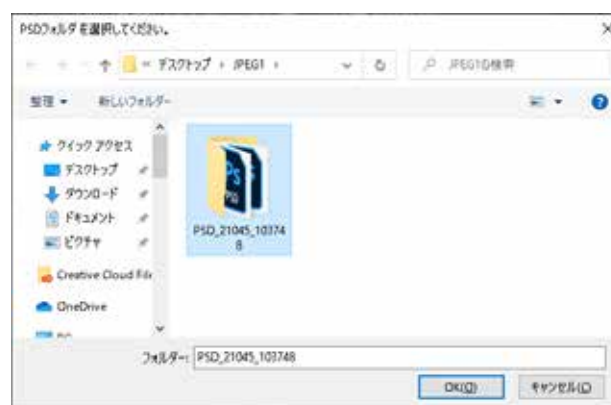
「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。

さらに「リネーム(4桁-6桁)」ボタンをクリックしてください。



手順3 フォルダを選択

6桁ファイル名に変換したいブックのフォルダ(中身は4桁のファイル)を選択し、「OK」をクリックしてください。

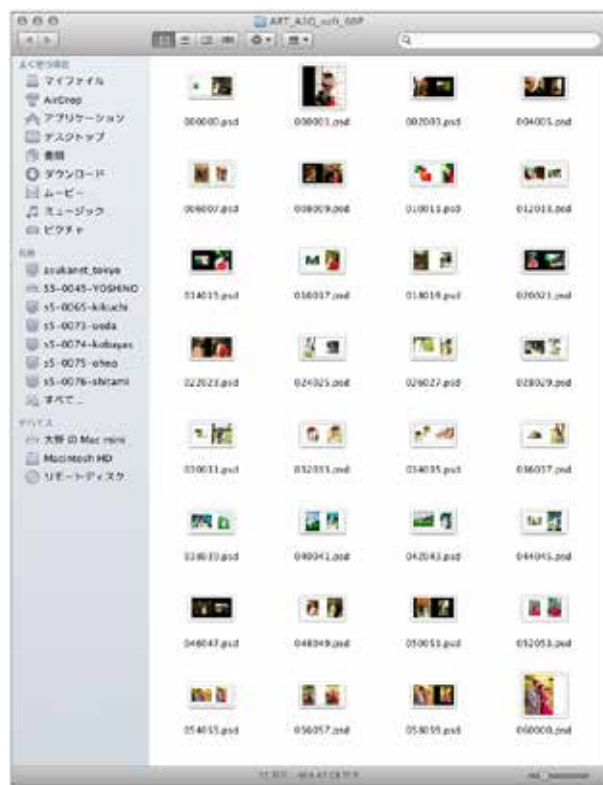


リネームが完了すると、右図のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてください。



「OK」をクリックすると、ファイル名が6桁に変換されたフォルダが表示されます。

6桁に変更されたことを確認してください。



9-6. 環境設定

「ABPs」の動作状態を変更することができます。

◆使い方

手順1 「ABPs」の起動

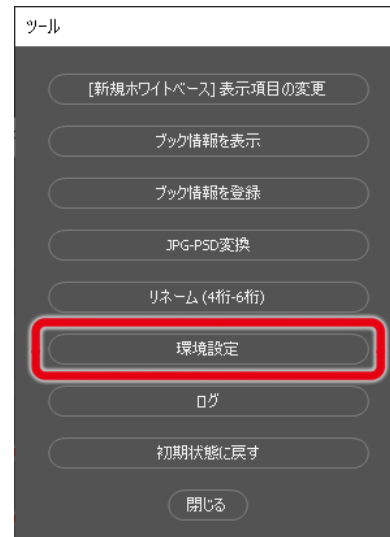
「ABPs」を起動し、操作パネルの「ツール」ボタンをクリックします。



手順2 「環境設定」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。

さらに「環境設定」ボタンをクリックしてください。

**手順3 「解説を含める」にチェック**

「環境設定」ダイアログが表示されます。

「新規ホワイトベース」ボタンでホワイトベースを制作した場合に、「削除レイヤー」に解説文を記載されるか否かを選択することができます。

- 初期状態では「解説を含める」（チェックが入った状態）に設定されています。



「削除レイヤー」に解説文が記載される例
(例は表紙ファイル)



「削除レイヤー」に解説文が記載されない例
(例は表紙ファイル)



9-7. ログ

「ABPs 1.2.2.4」から追加した機能です。「ABPs」では、「ABPs」の動作状態を常に記録しています。この記録を「ログ」と呼びます。これは「ABPs」の動作にエラーが起こった際にその情報を記録し、原因追及に役立てるためです。

もし、「ABPs」の動作にエラーが発生し、しかもそれが再現される場合には、アスカネットのユーザーサポートにご連絡ください。ユーザーサポートから依頼があった際はこのログファイルをEメール添付などの方法にて弊社に送付してください。エラー発生原因の追及と復旧対策の参考にさせていただきます。

◆使い方

手順1 「ABPs」の起動

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ツール」ボタンをクリックします。



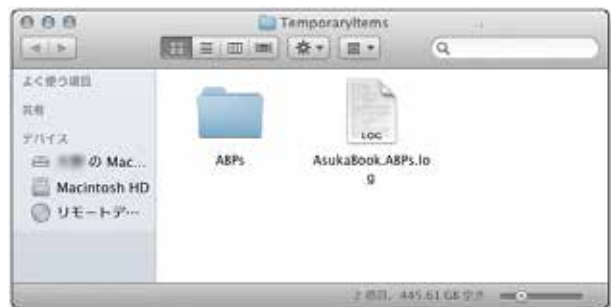
手順2 「ログ」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。

さらに「ログ」ボタンをクリックしてください。



「TemporaryItems」というフォルダが開きます。
このフォルダの中にある「AsukaBook.ABPs.log」という名
称のファイルがログファイルです。



手順3 「ABPs」の操作を行う。

「TemporaryItems」フォルダを開いたまま、もう一度「ABPs」の操作を行ってください。
この状態でエラーが発生しましたら、そこで「ABPs」の操作を打ち切り、「AsukaBook.ABPs.log」ファイルをユーザーサポ
ートにお送りください。

サポートは、下記をご参照ください。

14. お問い合わせ

9-8. 初期状態に戻す

「ABPs」の状態を初期状態に戻すことができます。「ABPs」に不正な動作などがあった場合に、これを元に戻すものです。

◆使い方

手順1 「ABPs」の起動

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ツール」ボタンをクリックします。



手順2 「初期状態に戻す」をクリック

「ABPs」を起動し、「ツール」ボタンをクリックして「ツール」パネルを表示します。
さらに「初期状態に戻す」ボタンをクリックしてください。



「ABPs」が初期化され、右図のメッセージが表示されます。



10. ページナビゲーション

「ABPs」バージョン1.2から「ページナビゲーション」の機能を設けました。これはAdobe Bridge®を利用して編集中のASUKABOOK®の表紙から最終ページまでをページサムネイルとして一覧できる機能です。

また、各ページを見開きページ単位で入れ替え、ページ番号(ファイル名)を振り直すことができます。

10-1. ページナビゲーションを表示させる

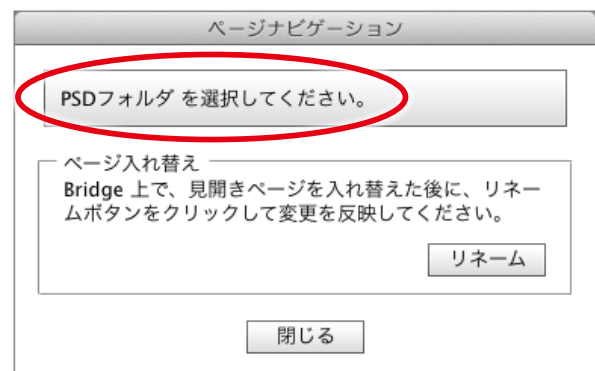
手順1 「ページナビゲーション」をクリック

「ABPs」を起動し、操作パネルの「ページナビゲーション」ボタンをクリックします。

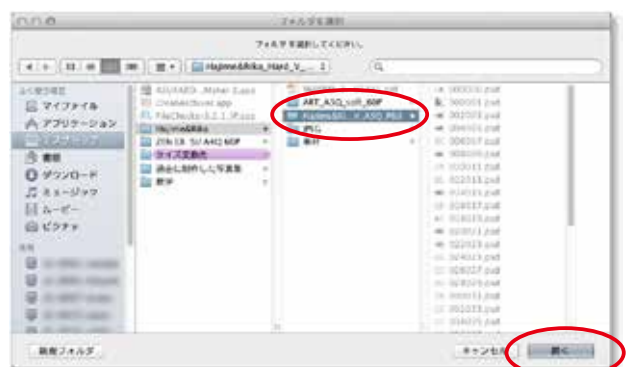


手順2 編集中のフォルダを選択

「ページナビゲーション」ダイアログが表示されます。「PSDフォルダを選択してください」と表記されているボタンをクリックしてください。

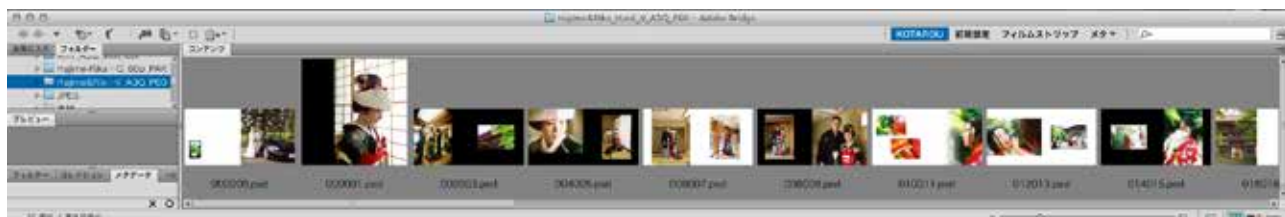


「フォルダを選択」ダイアログが表示されるので、編集中のホワイトベースが入っているフォルダを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。





下記のように「ページナビゲーション」が Adobe Bridge® を使って表示されます。



- Adobe Bridge® は「サムネール表示」モードで各ページを表示します。
- このサムネールをダブルクリックすると、該当するファイルを Adobe Photoshop® で開くことができます。
- サムネールの大きさは、Adobe Bridge® の右下方にあるサムネールサイズ調整スライダーで変更することができます。
- Adobe Bridge® のタブが複数起動した場合は、一つを残して終了してください。



サムネールサイズ調整スライダー

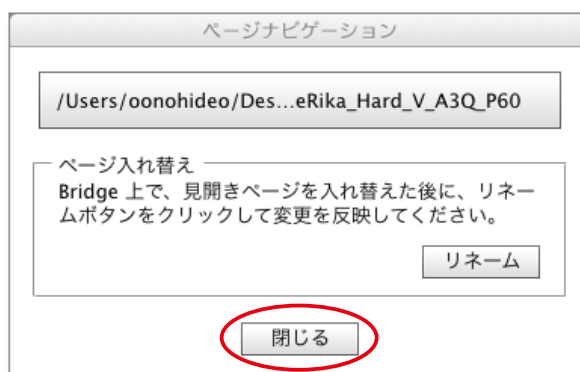
- Adobe Bridge® の詳しい使い方については、Adobe Bridge® のヘルプをご覧ください。



手順3 「ページナビゲーション」ダイアログを閉じる

「閉じる」ボタンをクリックして「ページナビゲーション」ダイアログを閉じてください。

- 「ページナビゲーション」ダイアログを閉じないと Adobe Photoshop® の他の機能を使用する事ができません。



10-2. ページの入れ替えによるファイル名の振り直し

「ページナビゲーション」を使って見開きページの入れ替え、およびページ番号（ファイル名）の振り直しが行えます。

ご注意

ページの入れ替えができるのは、「見開きページ」のみです。「表紙」、「開始ページ」「最終ページ」を入れ替えることはできません。

手順1 「ページナビゲーション」の起動

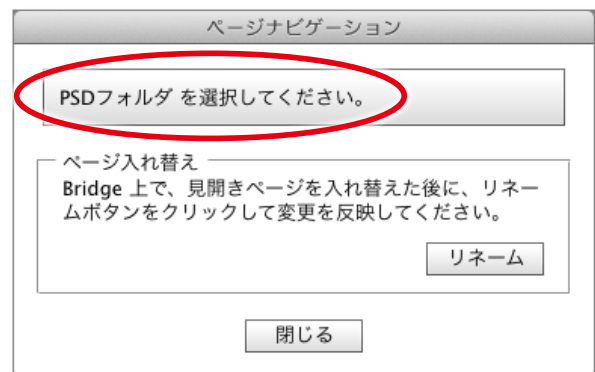
「ABPs」を起動し、操作パネルの「ページナビゲーション」ボタンをクリックします。



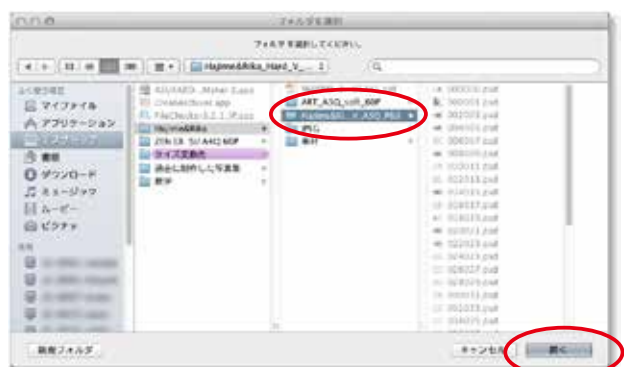
手順2 編集中的フォルダを選択

「ページナビゲーション」ダイアログが表示されます。「PSD フォルダを選択してください」と表記されているボタンをクリックし、編集中的ホワイトベースが入っているフォルダを選択します。

- 「ページナビゲーション」におけるフォルダ認識の操作はご面倒ですが毎回行ってください。

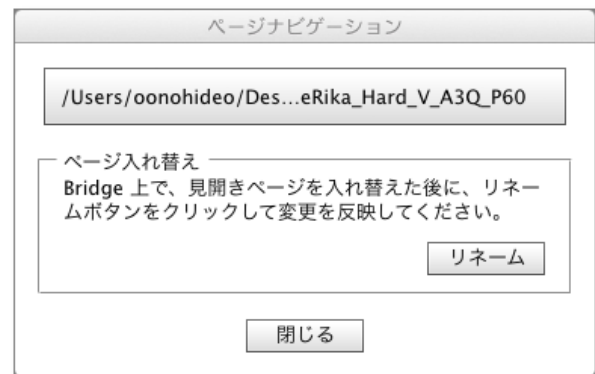


「フォルダを選択」ダイアログが表示されるので、編集中的ホワイトベースが入っているフォルダを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。





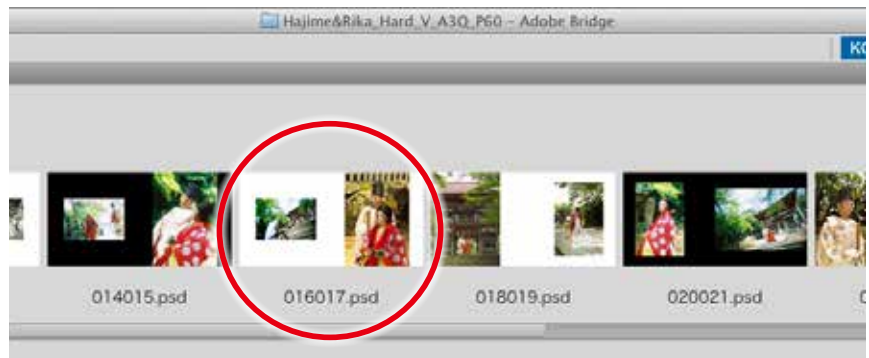
「ページナビゲーション」ダイアログに選択したフォルダのパスが表示されます。



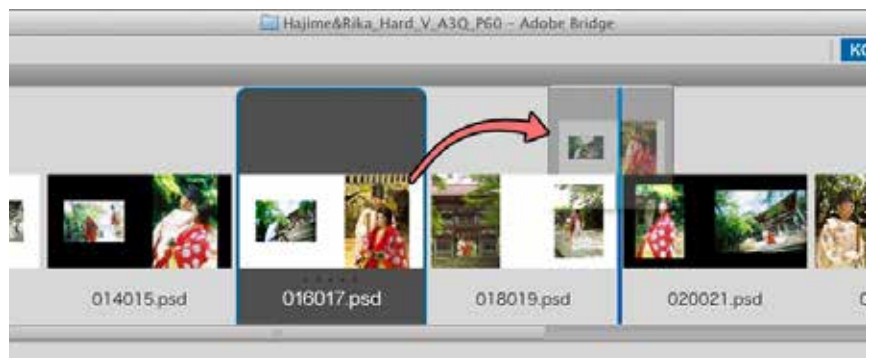
手順3 ページの入れ替え作業

Adobe Bridge®に表示されている「ページナビゲーション」を使ってページの入れ替えを行います。

例として、見開きの「16-17ページ」と「18-19ページ」を入れ替えます。

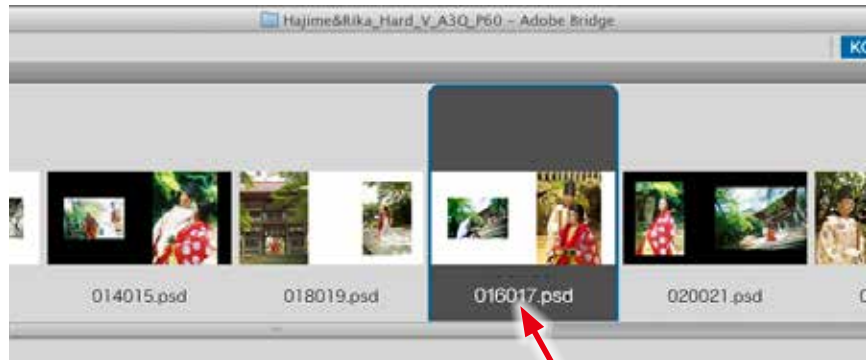


「016017.psd」をマウスで選択し、「018019.psd」と「020021.psd」の間に挿入します。



「016017.psd」が「018019.psd」の後ろに配置されます。

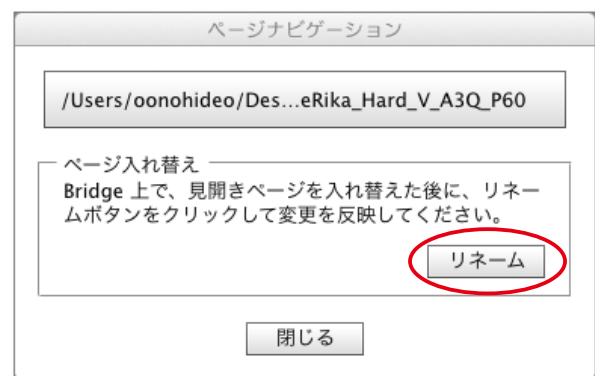
しかし、このままではページ番号（ファイル名）は以前のままです。そこで次の行程でファイル名の振り直しを行います。



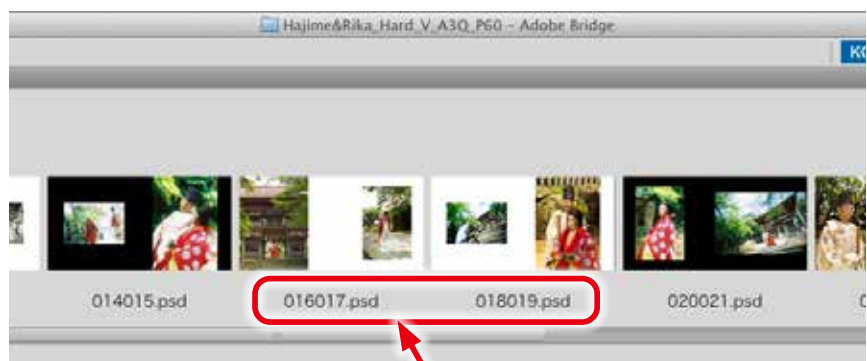
ファイル名はそのままになっているので振り直しを行う。

手順4 「リネーム」をクリック

この状態で「ページナビゲーションダイアログの」「リネーム」ボタンをクリックしてください。



ファイル名がアスカネットのページルールに従い、ページ順の通し番号に振り直しされます。



ファイル名がアスカネットのルールに従い、振り直される。

ご注意

- Adobe Bridge®では画像の配置を変更するだけではファイル名が変更されることはありません。
 - ファイル名の振り直しを行わないで注文用PDFに書き出した場合、ページの入替えは反映されません。
- 必ず上記の「10-2. ページの入替えによるファイル名の振り直し」10-3ページの手順に従い、ファイル名の振り直しを行ってください。

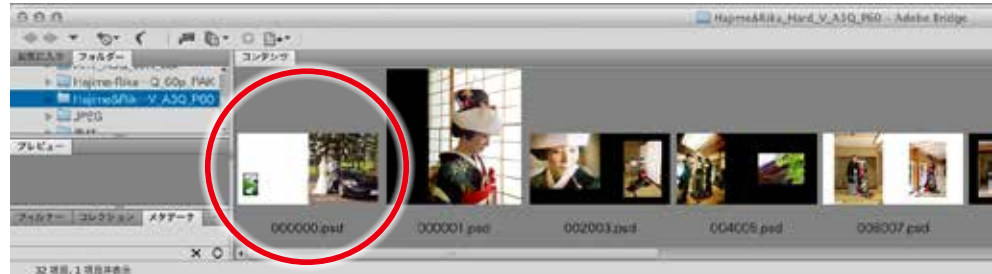
10-3. ページの入れ替えができない例

ページの入れ替えができるのは、「見開きページ」のみです。

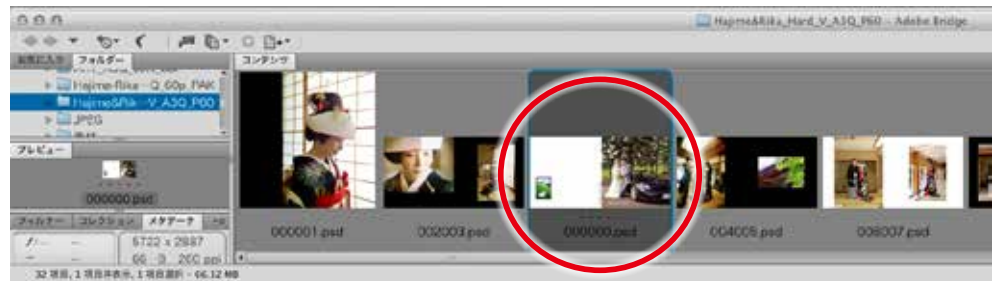
「表紙」、「開始ページ」「最終ページ」を入れ替えることはできません。Adobe Bridge®上ではファイルの並び順を入れ替えることはできますが、ファイル名は変更されないため、注文用PDFには反映されません。

ここでは、「表紙」、「開始ページ」「最終ページ」を入れ替えて「リネーム」を実行した場合の動作について解説します。

始めの状態



「表紙」を「002003」の
後に移動した状態



「ページナビゲーション」の「リネーム」ボタンをクリックすると・・・

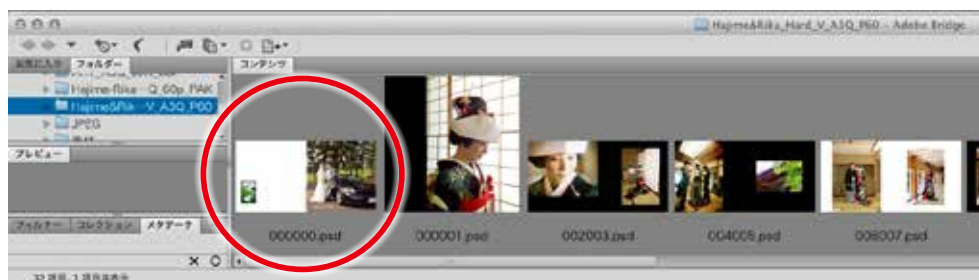


「見開き以外のファイルのリネームは無効です。」という警告が表示されます。



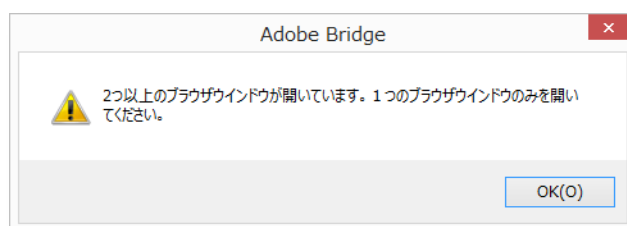


「OK」をクリックすると移動した「表紙」が所定の位置(表紙ですので最も左の位置)に戻ります。



10-4. Adobe Bridge® のエラーメッセージ

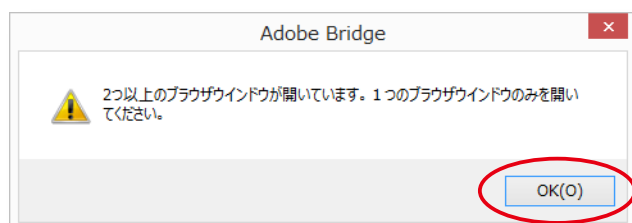
Adobe Bridge® から「2つ以上のブラウザウィンドウが開いています。1つのブラウザウィンドウのみを開いてください。」というメッセージが表示された場合は、Adobe Bridge®のウィンドウが2つ以上表示されていると意味合いです。



下記の手順に従って、Adobe Bridge® のウィンドウを閉じて作業してください。

手順1 メッセージを閉じる

「OK」ボタンをクリックしてメッセージを閉じます。



手順2 編集集中のフォルダを選択

ページが表示されていない方のAdobe Bridge® のウィンドウを閉じてください。もしくは、今回ページ変更をしたいAdobe Bridge® のウィンドウ以外をすべて閉じてください。

対象のページが表示されているウィンドウ

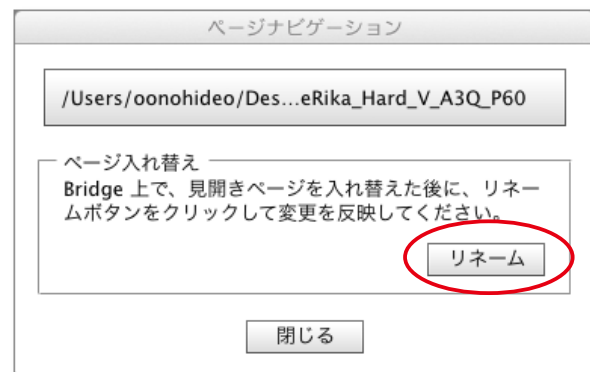


↓これらのウィンドウを閉じてください



**手順3 再度 ABPS の実行**

再度、ABPsを実行し「ページナビゲーション」を選択して「リネーム」ボタンをクリックしてください。



11. ご注文について

書き出した「注文用JPEGファイル」は、弊社がご提供する「マイページ」からインターネット経由で「JPG入稿」からアップロードしてください。

もしくは、CD、DVDなどのメディアに保存後、宅配便にて発送してください。



◆「マイページ」について（2012年1月25日より開始）

「マイページ」とは、アスカブックサービスと契約があるお客様にご提供されるサービスです。「マイページ」にログインをしてご注文をして頂くと、お客様のご注文状況の確認、発送したブックのお問い合わせ番号と状況確認、増刷のご注文などがインターネットを通じて行えるようになります。

なお、「マイページ」は登録制になっております。ご契約後において「マイページ」のご登録がお済みでない方は、<https://asukabook.jp/app/customer/user/mypage/myPage> にアクセスして、ご登録をお願いします。

12. ご注文後の流れ・キャンセル・増刷

- ① 毎日23時59分59秒までに「マイページ」からの送信によりご注文頂いたものを、翌営業日から起算して6営業日(一部商品は3営業日)に出荷させていただきます。
- ② ご注文の日時は、アップロード完了後の30分前後で返信される「ご注文のお知らせ」のメールに記載されている「受付日」をご確認ください。
- ③ 出荷についてはASUKABOOK®ホームページより「出荷予定日表」にてご確認ください。
- ④ お客様自身によるキャンセル処理は、アップロード送信当日の23時59分まで可能です。
「マイページ」よりログインして頂き、発注済み画面よりご注文をキャンセルすることが可能です。
- ⑤ キャンセルが送信の翌日になってしまった場合は、AM9:00までにサポートセンターまでEメール(info@asukabook.jp) にてご連絡下さい。
この際、ユーザー ID、お客様名、キャンセルされる PDF ファイルのファイル名 を必ずご連絡ください。
この時間を過ぎた場合には、別途キャンセル料金がかかりますのでご了承ください。
- ⑥ 受注確定の場合は、翌営業日に「確認書」がアスカネットよりFAXにて送信されます。
- ⑦ 3ヶ月以内の増刷発注は、「マイページ」の「増刷」よりご発注頂けます。

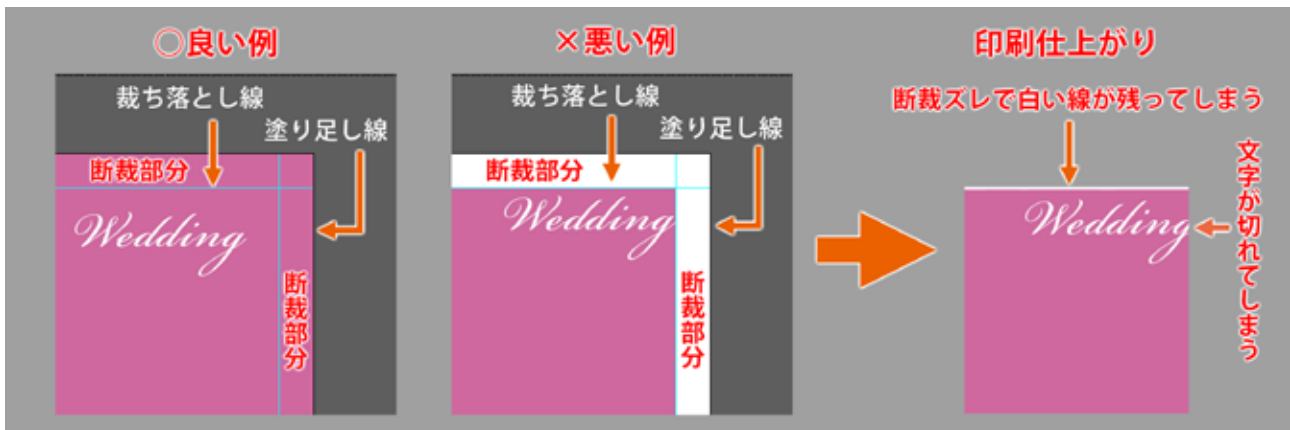
13. 編集上の注意

13-1. 塗り足しと裁ち落としについて

塗り足しとは、紙面の印刷可能領域よりも余分に写真や背景をデザインする部分をいいます。塗り足し部分は、裁ち落とし線を目安に断裁されますが、この線ぎりぎりにデザインしてしまうと断裁時のズレ等により、白い部分が残ってしまったり、文字が切れてしまう場合があります。

文字は、裁ち落とし線より天地左右5mm程度内側に余裕をもって配置してください。

写真やイラスト、背景をデザインする際は、裁ち落とし線を越えて塗り足し線まで紙面いっぱいに画像を配置してください。



い。

13-2. 塗り足し領域について

「ブック変換」機能によるブックサイズの変更は、変換元ファイルにおけるブックサイズとレイアウトの関係(画像の位置や比率など)を変換先においても損なわないように作られています。しかし、印刷や製本の関係上、どのブックサイズにおいてもホワイトベースには塗り足し領域を3mm(ブックや表紙・ケース等により異なります)確保しなければなりません。

このため、変換元ファイルを縮小した後、変換先のホワイトベースの大きさになるように塗り足し分も含めてキャンバスサイズを調整するため、背景に白色以外の色を付けている場合、変換先の塗り足し領域に白い部分ができることがあります。特に表紙はページ数により背幅が異なるため、変換誤差が大きくなる場合がありますのでご注意ください。これらのことにより写真やイラストの位置もずれる場合があります。



変換元のブックサイズ 例は A3Q

※変換先のファイルは、ご発注の前にこの白い部分が塗り足し領域より内側(本文内部)に入っていないこと、写真やイラストがずれていないことを必ず確認してください。位置がずれている場合は修正



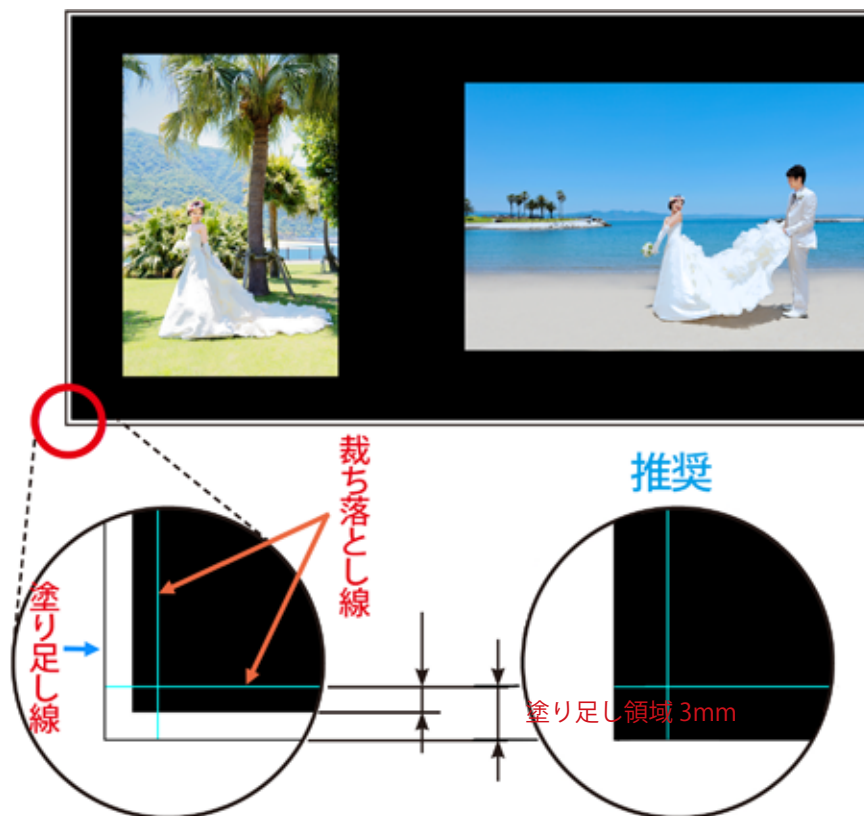
し、塗り足し部に白い部分がある場合は、写真を広げたり、背景と同色で塗りつぶしてください。

ご注意

変換後のブックサイズ 例は CD

塗り足し領域は、幅が通常3mm(ブックや表紙・ケース等により異なります)です。写真集の仕上がりは、裁ち落とし線で断裁された大きさになりますが、断裁時に誤算が±発生してしまいます。このため、写真をページ全体に配置する場合や、背景に色を付ける場合は、塗り足し領域に写真や色が**少なくとも1.5mm以上**入るようにレイアウトを行ってください。

※上記は保証するものではありません。塗り足し線いっぱいまで写真を配置、もしくは、背景を同色で塗ることを推奨いたします。写真やイラスト、文字の位置なども必ず確認してください。



13-3. サイズ変換による表紙・本文のデザイン確認について

本はその構造上、ブックサイズが異なっても紙の厚みは同じですので、ページ数が同じなら背表紙は同じ厚みになります。ところが表紙用のホワイトベースは表紙、裏表紙、背表紙が一体となっていますので、サイズ変換を実行すると背表紙の寸法まで変更されてしまいます(背幅が狭くなってしまいます)。本文も版型が同じでも縦横比が大きく異なりまるとトリミング部分が大きくなってしまい、レイアウトが大きく変わる場合があります。

サイズ変換後は、表紙ファイル・本文ファイルを開いてレイアウトを確認し、背表紙や裁ち落としのレイアウトを修正してください。また、「EX」、「EXD」、「ハードカバー」(レイフラット仕様を含む)、「ZENレイフラット」の場合は、表紙そのものに3mm程度の厚みがあるため、塗り足し領域に白が入っていると表紙の厚み部分で写真から白に切り替わる様なデザインになることがあり、写真集の体裁が悪く、雰囲気損ないます。

ご発注の前に変換された表紙・本文を開いてレイアウトを確認し、必要に応じて修正して頂くようお願い致します。修正の基本的な要点は、

- ①表紙のレイアウトを右側に移動する。
- ②裏表紙のレイアウトは左側へ移動する。
- ③塗り足し領域にリサイズされたことにより白い部分が発生した場合には、写真を多少拡大するか、白い部分を黒などで塗りつぶす。

- ④トリミングが大きく行われた場合は、修正してください。また、その場合は申し訳ありませんが、変換をおすすめいたしません。



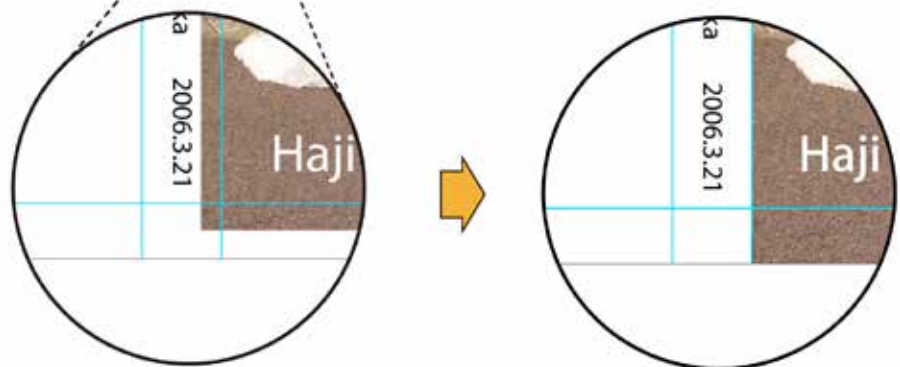
「A3Q」から「CD」にサイズ変換をした例



修正例

この例では、表紙の写真を右側へ移動し、塗り足し領域いっぱいに写真を配置しています。

サイズ変換では背表紙のレイアウトも一緒に縮小してしまうため、背表紙付近のレイアウトにズレが生じます。背表紙に引かれたガイドラインに従ってレイアウトを修正してください。



13-4. 最新情報はホームページで確認

写真集のデザインを綺麗に仕上げるために、ASUKABOOKの製本構造を配慮して頂く必要がございます。最新情報を弊社のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

ホーム／作り方／データ作成ガイド

<https://asukabook.jp/edit/technique.html>

14. お問い合わせ

サポートに関するお問い合わせは、フリーダイヤル、Eメールにて受付致しております。
下記よりお気軽にお問い合わせください。

■ ASUKABOOK® に関するお問い合わせ電話番号



0120-520-410 (フリーダイヤル)

電話の受付時間：10:00 - 17:00 月曜日 ~ 金曜日

(祝祭日・夏季休暇・年末年始は除きます)

■ ASUKABOOK® に関するお問い合わせメールアドレス

info@asukabook.jp

メールの受付時間：随時、お受けしておりますので、お気軽にご連絡ください。

また、弊社よりご連絡を差し上げるまでに、多少お時間を頂戴することがございます。

※ 弊社はプライバシーポリシーに基づき、個人情報を管理しております。

上記よりお伝えいただいた情報は、お問い合わせの回答のみに利用し、他の利用は行いません。

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-3 ヒューリック青山外苑東通ビル 5 階

株式会社アスカネット フォトブック事業部

フリーダイヤル ◆ 0120-520-410

(土・日・祝祭日、夏期休暇、年末年始休暇を除きます)

ホームページ ◆ <https://asukabook.jp> E-mail ◆ info@asukabook.jp



索引

数字はページ数を表します。

索引

数字

3D 機能に関する警告について ...5-2

アルファベット

A

ABId の概要

必要なアプリケーションと作動環境 ...1-1, 1-2

「ABPs_1.2.x.xx」フォルダを「Scripts」フォルダにコピーする ...3-2

「ABPs_1.2.x.xx」フォルダをスクリプトフォルダにコピーする方法 (MacOS の場合) ...3-2

「ABPs」スクリプトのメニュー表示 ...3-3

「ABPs」スクリプトを都度、読み込んで起動する方法 (MacOS の場合) ...3-4

ABPs_JPG ...7-2

ABPs が起動しない場合 ...3-9

ABPs の特徴 ...1-1

Adobe Bridge® のエラーメッセージ ...10-7

AdobeRGB ...2-1

J

JPEG 出力先の選択 ...7-2

P

Photoshop のスクリプトフォルダを開く ...3-2

R

RGB モード ...2-1

S

「Scripts」フォルダを開く ...4-8

「Scripts」フォルダを開く ...3-7

sRGB ...2-1

かな

あ

扱えるファイル ...8-1

アンインストール ...3-6, 4-7

い

インストール ...3-1

インストール MacOS の場合 ...3-1

インストール Windows の場合 ...4-1

え

ABPs が起動しない場合 ...3-9

お

お問い合わせ ...13-4

か

解像度単位の変更方法 ...6-2

書き出し ...7-1

JPEG 出力先の選択 ...7-2

書き出し (注文用 JPEG の作成) ...7-1

カラープロファイル ...6-3, 8-3

解説 カラープロファイルについて ...6-5

き

起動 ...5-1

起動しない場合 ...3-9

キャンセル ...12-1

こ

ご注文後の流れ ...12-1

ご注文について ...11-1

さ

最新情報 ...13-3

削除レイヤー ...6-4, 9-10

し

Zip ...3-1

初期状態に戻す ...3-6, 4-7

そ

増刷 ...12-1

た

ダウンロードしたファイルの解凍 ...3-1, 4-1

ち

小さな文字 ...2-1

注文用 PDF

注文用 PDF の作成 ...7-1

つ

ツール ...9-1

JPG-PSD 変換 ...9-6

環境設定 ...9-10

初期状態に戻す ...9-11, 9-12

ブック情報

ブック情報が登録されていない場合 ...9-4

ブック情報を登録 ...9-4

ブック情報を表示 ...9-1, 9-2

リネーム (4 桁 -6 桁) ...9-8

ぬ

塗り足し領域 について ...13-1

ひ

表紙のデザイン確認 について ...13-2

ふ

ブック仕様の選択 ...6-3

ブック変換 ...8-1

基本操作 ...8-4

事前の準備 ...8-1

注意事項 ...8-1

表紙ページの変換 ...8-8

ブック変換処理の方法 ...8-2

ブック変換の制限事項 ...8-2

ブック変換のルール ...8-1

ブック変換の例外 ...8-3

ページ数を増やす場合 ...8-12

ページ数を減らす場合 ...8-13

変換ができない組み合わせ ...8-3

変換先のブックファイルの用意 ...8-1

変換先のホワイトベースの準備 ...8-4

変換先ファイルの選択 ...8-10

変換先フォルダの選択 ...8-6

変換元ファイルの選択 ...8-9

変換元フォルダの選択 ...8-5

本文ページの変換 ...8-5

レイアウト確認 ...8-2

プロファイル ...2-1

へ

ページナビゲーション ...10-1

ページの入れ替えができない例 ...10-6, 10-7

ページの入れ替えによるファイル名の振り直し ...10-3

編集上の注意 ...13-1

ほ

細いライン ...2-1

ホワイトベース ...6-1

ホワイトベースの作成 ...6-1

ホワイトベースの仕様 ...6-4

ま

マイページ ...11-1

ろ

ログ ...9-11